User's
Manual

YS100 SERIES

YSS20
プログラム作成パッケージ

IM 01B07C08-06

YOKOGAWA ◆
横河電機株式会社

IM 01B7C08-06
4版

◆ はじめに

本書では，YS100シリーズのYSS20プログラム作成パッケージ(Windows版)の機能解説および操作方法について説明します。

■対象とする読者

本書の内容は，YS100 シングルループコントローラの機能を理解しWindows 95／98またはWindows NT 4.0の操作ができる計装制御エンジニアおよび計装制御機器の保守担当者を対象にしています。

■関連する資料

YSS20 プログラム作成プログラムの関連資料は次のとおりです。必要に応じて参照してください。( )内は，ドキュメントナンバーです。

● YS150／170 シングルループコントローラ 取扱説明書 (IM 1B7C1-01)
YS150／170 の基本的な操作を説明しています。
【YS150／170 シングルループコントローラに添付】

● YS131 指示警報計 取扱説明書 (IM 1B7D2-01)
YS131 の基本的な操作を説明しています。
【YS131 指示警報計に添付】

● YS135 手動設定器 取扱説明書 (IM 1B7D3-01)
YS135 のの基本的な操作を説明しています。
【YS135 手動設定器に添付】

● YS136 手動操作器 取扱説明書 (IM 1B7D4-01)
YS136 の基本的な操作を説明しています。
【YS136 手動操作器に添付】

● RS-485／DCS 通信機能説明書 (IM 1B7C8-03)
YS100 シリーズの通信機能を使用する場合の説明書です。
【YS100 シリーズの RS-485／DCS 通信付に添付】

■商標

Windows 95／98，Windows NT 4.0 は，米国 Microsoft 社の登録商標です。

◆ 外観チェックと付属品の確認

製品をお受け取りになりましたら，外観チェックを行い損傷のないことを確認してください。
製品の梱包箱および梱包内装材は，万が一製品が故障し修理のため当社サービス拠点に発送いただく時に必要となりますので、大切に保管してください。

■形名・仕様コードの確認

製品の形名が，ご注文内容に合っているか，下表でご確認ください。

形名	基本仕様コード	記事
YSS20		プログラム作成パッケージ
動作環境	-1	IBM PC/AT互換機用(日本語Windows版)
	-2	IBM PC/AT互換機用(英語Windows版)
	1	常に1
	0	常に0

■梱包内容の確認

以下のものが揃っていることをご確認ください。万一，足りないものがあった場合や，破損している場合は，すぐにお買い求めの当社営業所または代理店にご連絡ください。

1) 3.5 インチフロッピーディスク .....2 枚
2) 専用ケーブル .....1 本
3) YSS20 プログラム作成パッケージ取扱説明書（本書）.....1 冊

◆ 本書の表記について

■本書で使用しているシンボルマーク

本書では，以下のシンボルマークを使用しています。

「 」 ダイアログボックス，メッセージ，ビュー名称
(ダイアログボックスの左上にある名称)
(例)「入力演算設定」が表示されます。

[ ] ダイアログボックス内のコマンド名称，ツールメニューの名称
(例)[OK] ボタンをクリックします。
[キャンセル] ボタンをクリックします。
[入力演算設定] ボタンをクリックします。
ツールメニュー [ファイル] － [開く] をクリックします。

“ ” 文字入力
(例)[○○○○] テキストボックスに “ABCD” を入力します。

注 意

機能および操作を知る上で注意すべきことを記述してあります。

補 足

説明を補足するためのことがらを記述してあります。

参 照

参照すべき項目を記述してあります。

■製品の表示について

(1) 本書に記載されているイラスト・挿し絵は，説明の都合上，強調や簡略化または一部を省略していることがあります。
(2) 本書の表示図は，機能理解および監視操作に支障を与えない範囲で，実際の画面表示と表示位置や文字(大／小文字など)が異なる場合があります。

◆ 安全に使用するための注意事項

■ 本書 に対する注意

(1) 本書は，最終ユーザーまでお届けいただきますようお願いいたします。また，本書は大切に保管していただきますようお願いいたします。

(2) 本製品の操作は，本書をよく読んで理解したのちに行ってください。

(3) 本書は，本製品に含まれる機能詳細を説明するものであり，お客様の特定目的に適合することを保証するものではありません。

(4) 本書の内容の一部または全部を無断で転載，複製することは固くお断りいたします。

(5) 本書の内容については，将来予告なしに変更することがあります。

(6) 本書の内容については万全を期して作成しておりますが，もしご不審な点や誤り，記載もれなどお気付きのことがありましたら，お買い求めの販売店または当社営業までご連絡ください。

■本製品の保護・安全および改造に関する注意

(1) 本製品および本製品で制御するシステムの保護・安全のため，本書の安全に関する指示事項にしたがって本製品をご使用ください。なお，これらの指示事項に反する扱いをされた場合，当社は安全性を保証いたしません。

(2) 本書では，安全に関する以下のようなシンボルマークを使用しています。

● 製品および取扱説明書で使用しているシンボルマーク

“取扱注意”を示しています。

本製品においては，人体および機器を保護するために取扱説明書を参照する必要がある場所に付いています。また，取扱説明書においては感電事故など，取扱者の生命や身体に危険が及ぶ恐れがある場合にその危険を避けるための注意事項を記述してあります。

“保護接地端子”を示しています。

機器を操作する前に必ずグランドと接続してください。

“機能用接地端子”を示しています。

機器を操作する前に必ずグランドと接地してください。

● 取扱説明書のみで使用しているシンボルマーク

注 意

機能および操作を知る上で注意すべきことがらを記述してあります。

■本製品の免責について

(1) 本製品の使用によりお客様または第三者が損害を被った場合，あるいは当社の予測できない本製品の欠陥などのため，お客様または第三者が被った損害およびいかなる間接的損害に対しても当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

(2) 本製品の部品や消耗品を交換する場合は，必ず当社の指定品を使用してください。

(3) 本製品を改造することは固くお断りいたします。

(4) 本製品は，特定された1台のコンピュータでご使用ください。別のコンピュータに対してご使用になる場合は，別途ご購入ください。

(5) 本製品をバックアップの目的以外でコピーすることは，固くお断りいたします。

(6) 本製品の収められているフロッピーディスク(オリジナルメディア)は，大切に保管してください。

(7) 本製品の逆コンパイル，逆アセンブルなど(リバースエンジニアリング)を行うことは，固くお断りします。

(8) 本製品は，当社の事前の承認なしにその全部または一部を譲渡，交換，転貸などによって第三者に使用させることは，固くお断りいたします。

目　　次

◆ はじめに i
◆ 外観チェックと付属品の確認 ii
◆ 本書の表記について iii
◆ 安全に使用するための注意事項 iv

1. 概要 1-1
1.1 機能 1-2
1.2 動作環境 1-3
1.3 利用可能な YS100 シリーズ 1-4

2. セットアップ 2-1
2.1 インストール 2-2
2.2 アンインストール 2-4
2.3 YS100 とパソコンの接続 2-5

3. 準備 1-1
3.1 起動と終了 1-2
3.1.1 起動 1-2
3.1.2 終了 1-2
3.2 作業フロー 1-3
3.3 ダイアログボックスの名称と機能 1-4
3.4 ツールメニュー 1-5
3.5 動作設定・レジスタ設定の基本操作 1-6
3.5.1 動作設定・レジスタ設定項目の選択 1-6
3.5.2 データの入力 1-6
3.5.3 入力データの更新とキャンセル 1-7

4. 操作 4-1
4.1 新規作成 4-2
4.1.1 YS 形名 4-3
4.1.2 コントローラモード選択 4-3
4.1.3 ファイル管理 4-4
4.2 YSS20 メインメニュー 4-6
4.2.1 プログラム作成 4-7
4.2.2 動作設定・レジスタ設定 4-9
4.2.3 YS100 との通信 4-10
4.2.4 プリンター出力 4-14

5. エラーメッセージ 5-1
5.1 プログラム作成時のエラーメッセージ 5-2
5.2 通信時のエラーメッセージ 5-3

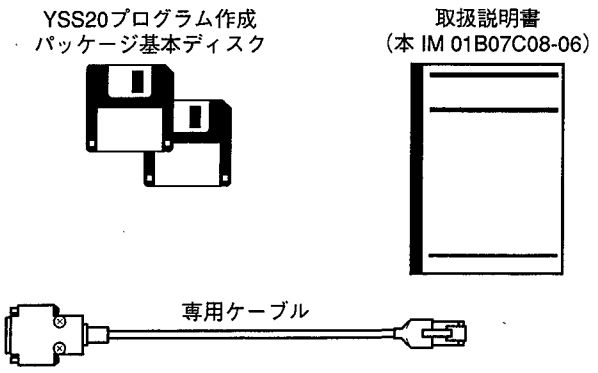
付録 パラメーター覧 ..... 付 -1
◆ 取扱説明書 改版履歴

1. 概要

YSS20 プログラム作成パッケージは，YS100 シングルループコントローラが持つ各動作／レジスタのパラメータやユーザープログラム(YS170 のみ)をパソコンから設定するためのソフトウェアパッケージです。
作成した動作／レジスタのパラメータやユーザープログラム(YS170 のみ)はファイル形式でパソコンに保存することができます。

YSS20 プログラム作成パッケージは、IBM PC/AT 互換機の Windows 95/98 または Windows NT 4.0 上で利用できます。
パソコンおよびWindowsの利用方法については、各取扱説明書を参照してください。

YSS20 プログラム作成パッケージ構成



1.1 機能

YSS20 プログラム作成パッケージには，次のような機能があります。

- **動作／レジスタのパラメータ設定**
  YS100 の機能を構築する動作／レジスタのパラメータ設定や変更ができます。
- **ユーザープログラムの作成**
  YS170 のユーザープログラムの作成や編集ができます。
- **YS100 の読込みと書込み**
  YS100の動作／レジスタのパラメータやユーザープログラムをパソコンへ読込んだり，設定した動作／レジスタのパラメータやユーザープログラムを YS100 に書込むことができます。
- **動作／レジスタのパラメータやユーザープログラムのディスク保存**
  YSS20 で作成した動作／レジスタのパラメータやユーザープログラム，YS100 から読込んだ動作／レジスタのパラメータやユーザープログラムをパソコンのハードディスクやフロッピーディスクなどに保存することができます。
- **動作／レジスタやユーザープログラムの印刷**
  作成した動作／レジスタのパラメータやユーザープログラムなどが印刷できます。

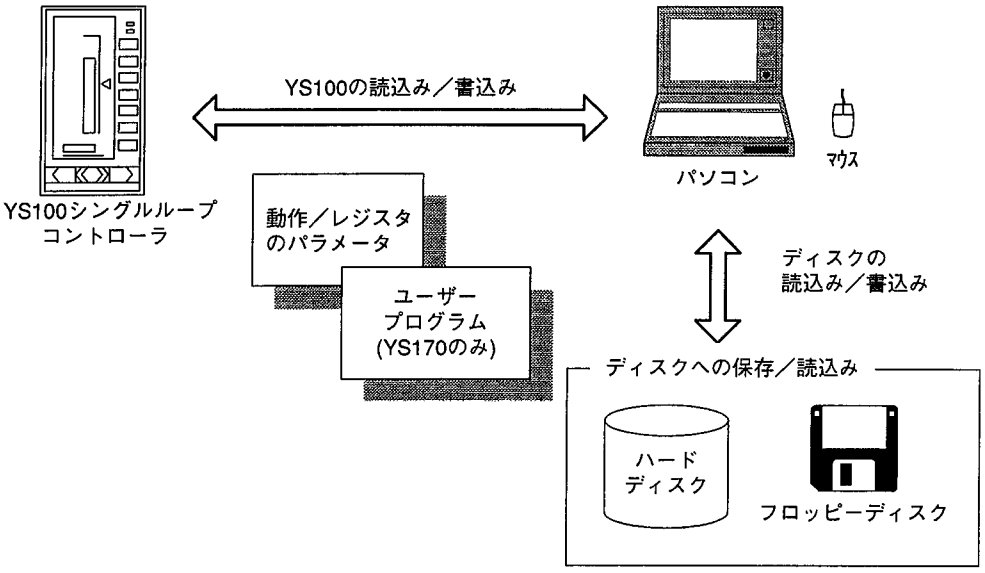


図 1.1.1 YSS20 プログラム作成パッケージの概念図

1.2　動作環境

■ パソコン環境

パソコン　：MS-Windows95/98 または MS-Windows NT 4.0 が動作する IBM PC/AT 互換機

OS(基本ソフト)　：MS-Windows95/98 または MS-Windows NT 4.0(SP3 以上)

CPU　：Pentium プロセッサ 90MHz 以上を推奨

主記憶容量　：MS-Windows95/98　：24MB 以上
MS-Windows NT 4.0　：32MB 以上を推奨

ハードディスク　：パッケージプログラム格納容量　= 5MB 以上
パラメータなどのデータ格納容量　= 2MB 以上

ディスプレイ　：800 × 600 ピクセル以上
表示色 256 色以上を推奨
小さいフォントを使用

RS-232C 通信ポート　：1 チャネル(COM 1 ～ 4 から選択)
IBM PC/AT 互換機 = D サブ 9 ピン

3.5 インチ FDC ドライブ：インストール時に必要

プリンタ：必要に応じて
MS-Windows95/98 または MS-Windows NT 4.0 用 A4 サイズ対応

■ 接続ケーブル

通信方式：YS100，パソコン共に RS-232C 半 2 重，専用ケーブルを使用

警　告

専用ケーブルは防水構造ではありません。
水などがかかる恐れがある場所では使用しないでください。

IBM PC ／ AT 互換機用

単位：mm

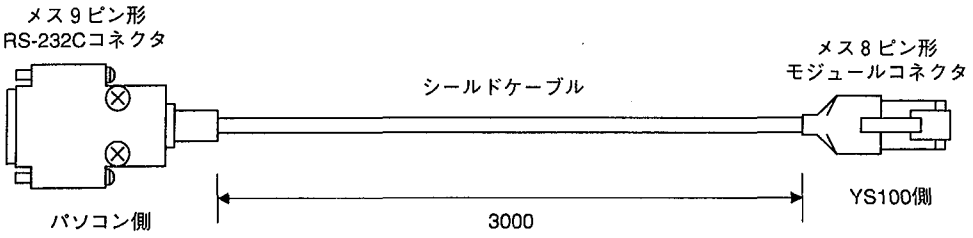


図 1.2.1 専用ケーブルの外観図

1.3 利用可能なYS100シリーズ

YSS20プログラム作成パッケージが利用できるYS100シリーズは，以下の通りです。

形名	機種名称	利用可能な範囲	スタイルによる制限
YS131	指示警報計	動作／レジスタ設定	S1：2ループ警報不可 S2：2ループ警報可能
YS135	手動設定器	動作／レジスタ設定	なし
YS136	手動操作器	動作／レジスタ設定	なし
YS150	シングルループコントローラ 機能選択形	動作／レジスタ設定	なし
YS170	シングルループコントローラ プログラマブル形	動作／レジスタ設定 プログラム設定	S1，2：プログラム200ステップ 機器間通信プログラム不可 S3，4：プログラム400ステップ 機器間通信プログラム可能

2. セットアップ

本章では，YSS20 プログラム作成パッケージのセットアップ作業と接続作業について説明します。

注 意

パッケージをインストールする前に，現在使用中のすべてのアプリケーションを終了させてください。
他のアプリケーションを使用中にインストールを行った場合，正常にインストールできないことがあります。

2.1 インストール

ここでは，一般的なWindows機能を使用したインストール手順を説明します。Windowsの操作方法については，ご使用のWindowsの取扱説明書を参照してください。

注 意

パッケージをインストールする前に，現在使用中のすべてのアプリケーションを終了させてください。 ウィルス検出ソフトやスクリーンセーバも同様に動作しないようにしてください。

(1) Windowsを起動します。
(2) YSS20プログラム作成パッケージのFD 1/2をパソコンのフロッピーディスクドライブに挿入します。
(3) [Windowsスタート] ボタンをクリックしてメニューの[ファイル名を指定して実行(R)]をポイントします。
(4)「ファイル名を指定して実行」ウィンドウの[名前(O)]に“フロッピーディスクのドライブ名:¥Setup.exe”を入力して [OK] ボタンをクリックします。(図2.1.1では，ドライブ名は“A”です)

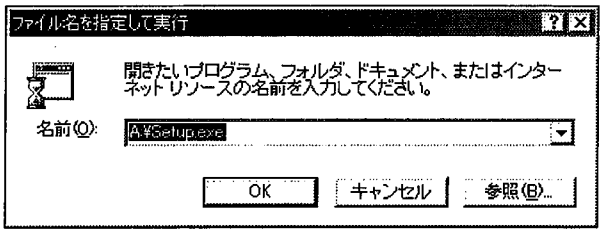


図2.1.1 「ファイル名を指定して実行」ウィンドウ

(5) セットアップ準備のバーが表示され，ウィザードの準備を行います。
(6) ウィザードの準備ができるとセットアップ開始のウィザードが表示されます。

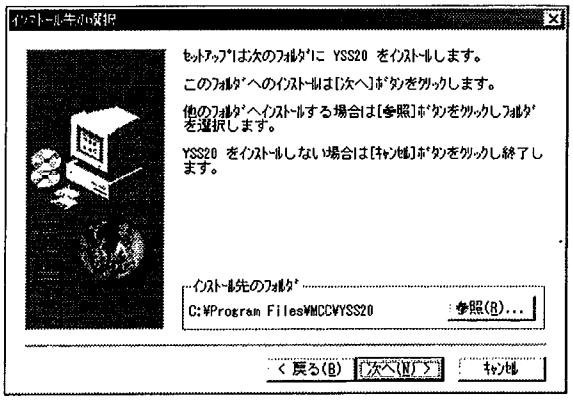


図2.1.2 「セットアップ開始」ウイザード

(7) その後は，セットアップのウィザードやダイアログボックスにしたがって作業を行います。
(8) 正常にインストールが行われると図2.1.3のセットアップ完了のウィザードが表示されます。
(9) [完了]ボタンをクリックしてセットアップを終了します。
(10) 最後に[Windows スタート]メニューの[プログラム(P)]を開いて，“YSS20”が登録されていることを確認します。

図2.1.3 「セットアップ完了」ウィザード

注 意

インストール開始または途中で，セットアップ先のディレクトリとしてルートディレクトリを指定しないでください。 正常にインストールできないことがあります。
インストール中にシステムの再起動を要求されることがありますが，そのウィザードの指示に従ってインストール作業を進めてください。

2.2 アンインストール

ここでは，Windows 機能を使用したアンインストール(削除)手順を説明します。Windows の利用方法については，ご使用の Windows の取扱説明書を参照してください。

以下は，パソコンから YSS20 プログラム作成パッケージを削除する操作手順です。

(1) Windows を起動します。
(2) [Windows スタート]ボタンをクリックしてメニューの[設定(S)]をポイントします。
(3) コントロールパネル(C)をクリックします。
(4) コントロールパネル「アプリケーションの追加と削除」アイコンをダブルクリックします。
(5)「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスのリストボックスで“YSS20”を選択します。
(6) [追加と削除]ボタンをクリックします。
(7) YSS20のプログラムが削除されるまでダイアログボックスの指示にしたがって作業します。
(8) 削除が終了しましたら,「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックスの[OK]ボタンをクリックして終了します。

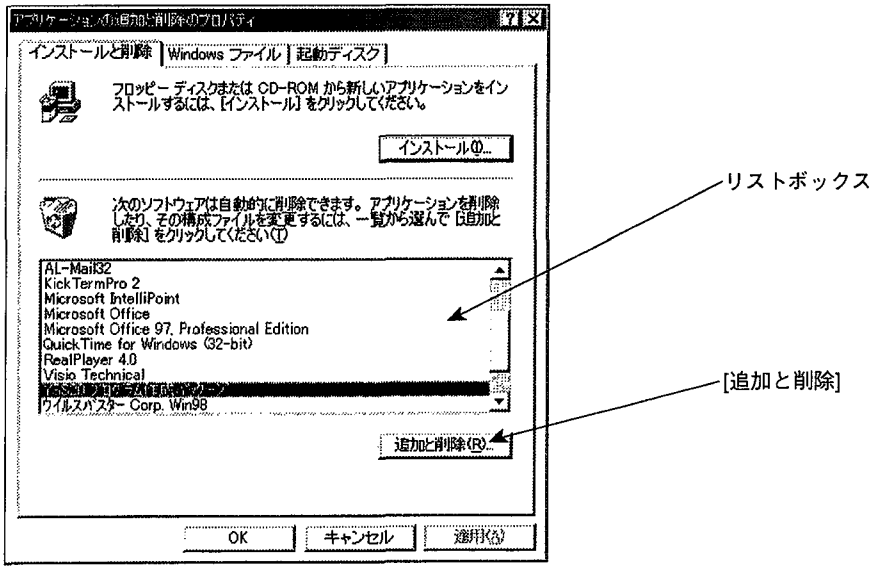


図 2.2.1 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログボックス

2.3 YS100 とパソコンの接続

YS100 とパソコンを接続する方法には,

- YS100 フロントパネル裏の内部パネルのパソコン接続用 RS-232C コネクタを使用する方法
- YS100 背面の通信端子を使用する方法(付加仕様：／A31 付きの場合)

があります。

以下に,一般的な内部パネルのパソコン接続用RS-232Cコネクタを利用した接続方法を説明します。

参 照

通信端子を使用する場合の配線は，各YS100の取扱説明書「2章 設置」をご覧ください。

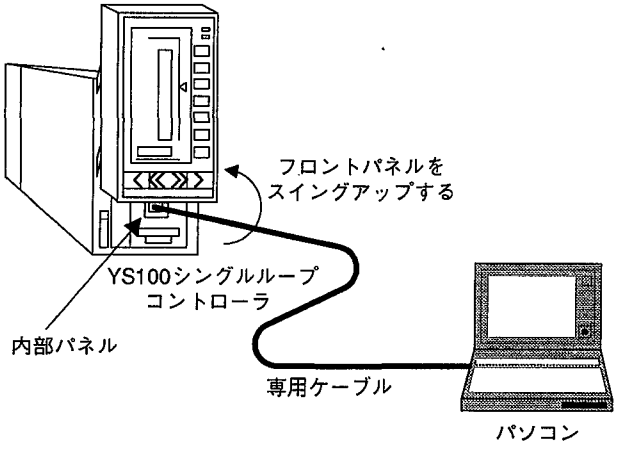


図 2.3.1 専用ケーブルを利用した YS100 とパソコンの接続例

YS100 とパソコン間の接続は，以下の手順で行ってください。

専用ケーブルの接続は，YS100 とパソコンとも電源オンの状態で行います。

(1) 専用ケーブルの 9 ピン RS-232C コネクタをパソコンの RS-232C 通信ポートに接続します。

(2) YS100 のフロントパネル下部中央を押しながら，フロントパネルを手前に引上げます。

(3) 手前に引上げたとき，軽い抵抗感があって止まります。

(4) 専用ケーブルの 8 ピンモジュールコネクタを YS100 内部パネルのパソコン接続用 RS-232C コネクタに差込みます。

専用ケーブルを外すときは,(4)→(1)の手順で行います。

注 意

専用ケーブル着脱の際には，YS100側コネクタのレバーを折らないよう注意してください。

3. 準備

本章では，YSS20 プログラム作成パッケージを使用する前の準備を説明します。
プログラム作成パッケージの作業フロー，パッケージを操作する上での注意事項，共通操作などが記述されていますので，必ずお読みください。
Windowsの利用方法については，ご使用のWindowsの取扱説明書を参照してください。

3.1 起動と終了

3.1.1 起動

(1) Windows を起動します。
(2) [Windowsスタート] ボタンをクリックしてメニューの[プログラム(P)]をポイントします。
(3) “YSS20” をクリックします。
(4) YSS20 プログラム作成パッケージが起動し，「YSS20」ダイアログボックス(図3.1.1)が表示されます。

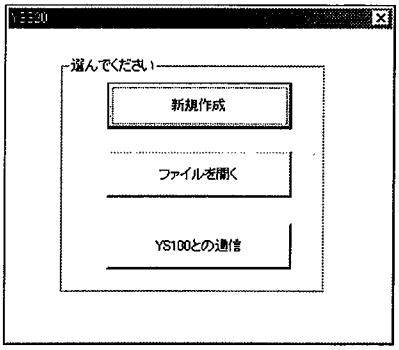


図3.1.1 「YSS20」のダイアログボックス

3.1.2 終了

終了方法には，次の２種類があります。

- YSS20 メインメニュー(図3.1.2)で[終了]ボタンをクリックする。
- YSS20メインメニューのツールメニュー(図3.1.2)の[ファイル(F)]－[アプリケーションの終了(X)]をクリックする。

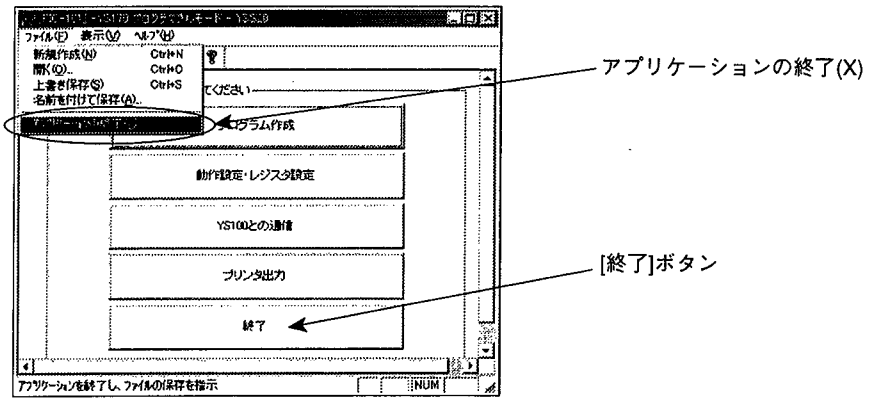


図3.1.2 「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックス

注 意

動作/レジスタのパラメータやユーザープログラムをファイル保存してからパッケージを終了してください。 アプリケーションの終了(X)または[終了]ボタンをクリック後は，保存のダイアログボックスはありません。

3.2　作業フロー

図3.2.1に，プログラム作成パッケージの作業フローを示します。
大きく分けて，以下の作業となります。

- 新規に動作/レジスタのパラメータやユーザープログラムを作成し，YS100に書込む
- YS100から動作/レジスタのパラメータやユーザープログラムを読出して変更し，YS100に書込む
- パソコンのディスクに保存してある動作/レジスタのパラメータやプユーザープログラムを読出して変更し，ディスクに書込む

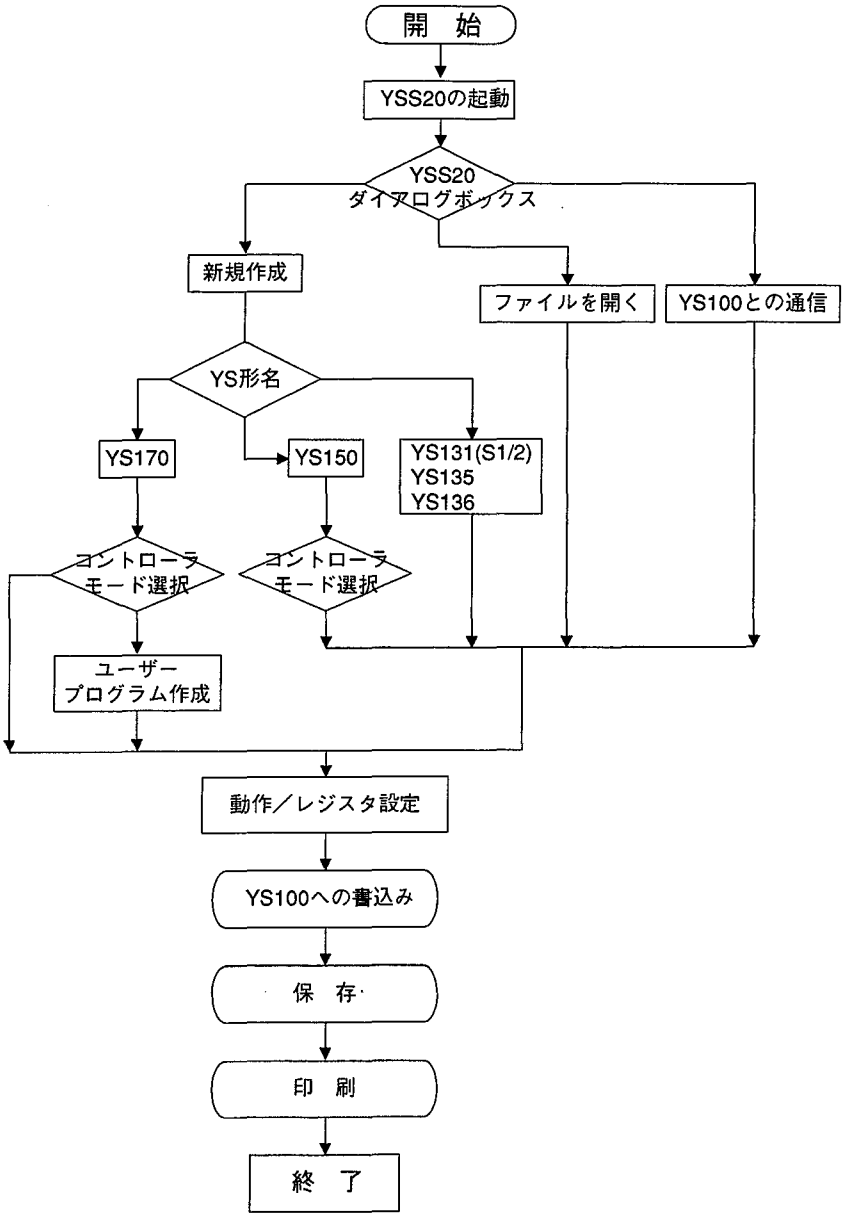


図3.2.1　作業フロー図

3.3 ダイアログボックスの名称と機能

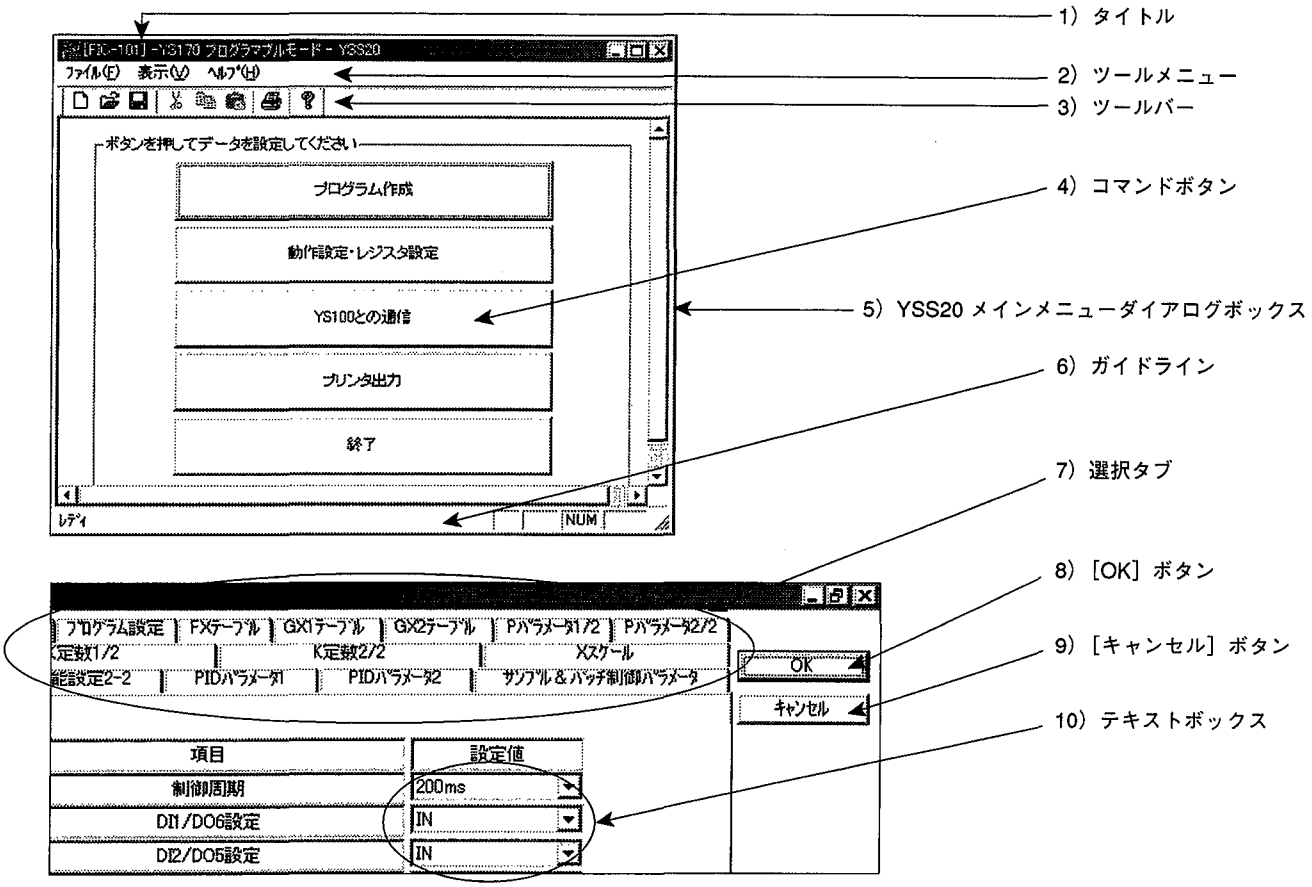


図 3.3.1 ダイアログボックスの名称と機能

1) タイトル
ツール名称(プログラム作成パッケージ)と現在使用しているユーザーファイル名を表示します。
2) ツールメニュー
本パッケージの機能の一部を各ツールメニューから選択します。
3) ツールバー
ツールメニューの項目中の使用頻度が多い機能をツールバーにコマンドボタンとして配置してあります。
4) コマンドボタン
メニューダイアログボックスに配置してあるボタンで，クリックすると各設定ダイアログボックスへ展開します。
5) YSS20 メインメニューダイアログボックス
メインメニューダイアログボックスを表示しています。
6) ガイドライン
操作において，適切な説明を表示します。
7) 選択タブ
このタブで動作/レジスタ項目を指定します。
8) [OK]ボタン
クリックすると表示されているデータを更新し，各画面を閉じます。
9) [キャンセル]ボタン
クリックすると設定変更を無効にしてダイアログボックスを閉じます。
この操作を行うと，設定した値は，更新されません。
10) テキストボックス
データの設定を行う部分です。 設定対象でない場合は，何も表示されません。

3.4　ツールメニュー

「YSS20 メインメニュー」のダイアログボックスを表示させている時に使用できます。

(1) ツールメニューの項目を選択しクリックします。

(2) プルダウンメニューが表示されますので，その中から目的のコマンドを選択します。

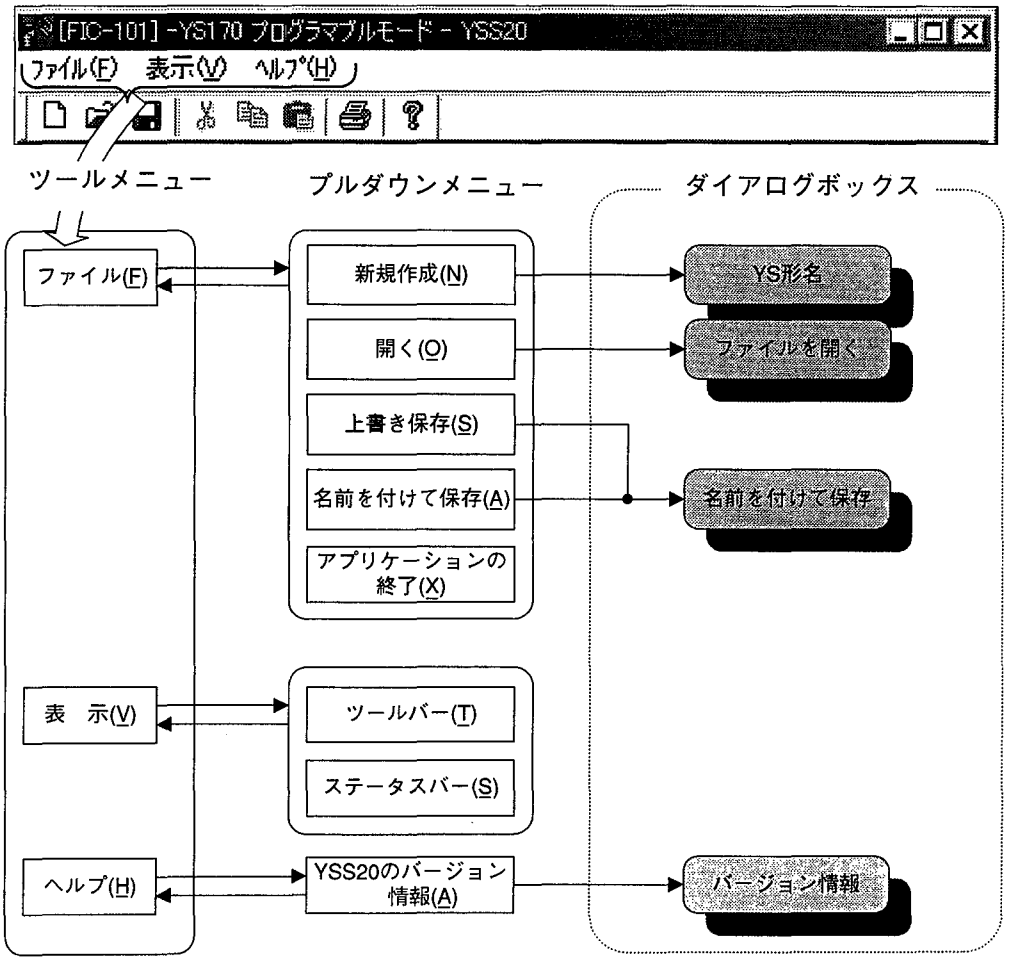


図 3.4.1　ツールメニューの内容

3.5 動作設定・レジスタ設定の基本操作

「動作設定・レジスタ設定」のパラメータ設定手順を説明します。
設定手順は，次のようになります。

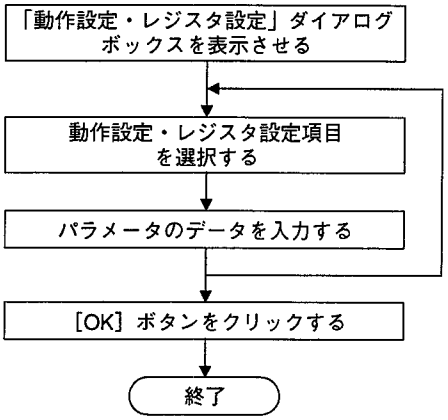


図 3.5.1 動作設定・レジスタ設定のパラメータを設定する

3.5.1 動作設定・レジスタ設定項目の選択

(1)「動作設定・レジスタ設定」ダイアログボックスで，選択したい動作設定・レジスタ設定項目の選択タブをクリックします。
(2) 選択された動作設定・レジスタ設定のパラメータが，表示されデータ入力状態となります。

3.5.2 データの入力

データ入力は，テキストボックスで行います。手順は，Windowsの基本操作によります。
テキストボックスには，
● テキストボックスクリック後に数値や文字列を入力するタイプ
● オプションボタンをクリックしてドロップダウンリストから選択するタイプ
の2種類があります。

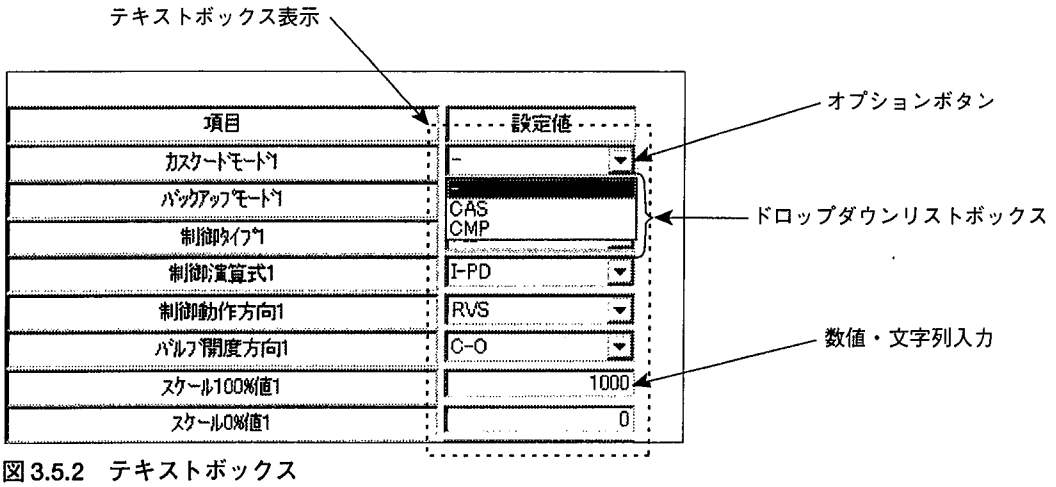


図 3.5.2 テキストボックス

3.5.3　入力データの更新とキャンセル

● **更新方法**

データの入力がすべて完了したら,[OK]ボタンをクリックします。

● **キャンセル方法**

入力したデータに更新しない場合は,[キャンセル]ボタンをクリックします。

注　意

[OK]ボタンをクリックしないでタイトルの[×]ボタンをクリックした場合，動作設定・レジスタ設定のパラメータデータは更新されません。

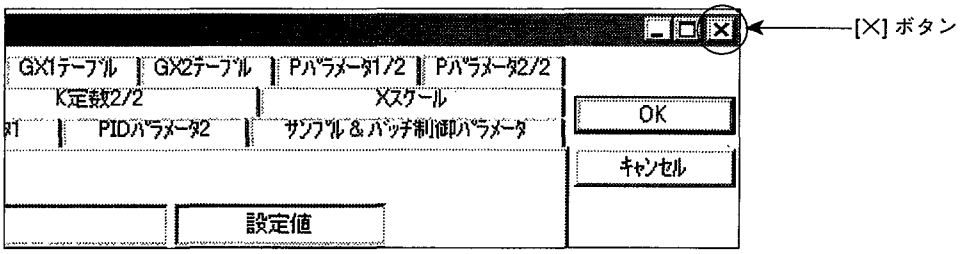


図 3.5.3　[X]ボタン

4.　操作

本章では，YSS20 プログラム作成パッケージの操作について説明します。
次の内容を説明します。

- 新規作成
- YSS20 メインメニュー
- プログラム作成
- 動作設定・レジスタ設定
- YS100 との通信
- プリンター出力

4.1 新規作成

YSS20 ダイアログボックスには，次の 3 つがあります。

- 新規作成
- ファイルを開く
- YS100 との通信

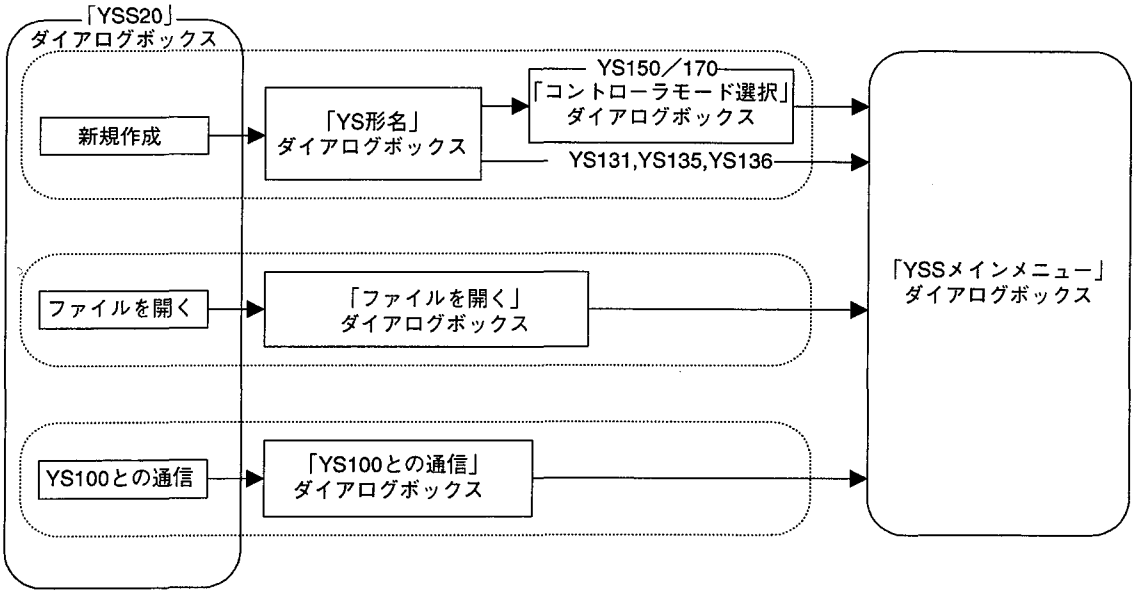


図 4.1.1 「YSS20」ダイアログボックスの構成

プログラム作成パッケージを起動後，「YSS20」ダイアログボックス(図 4.1.2)が表示されます。

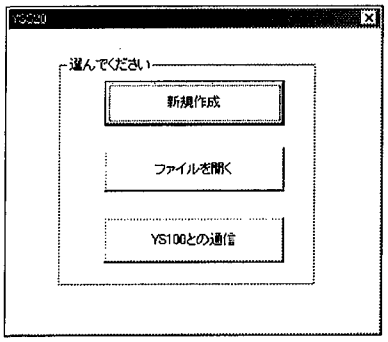


図 4.1.2 「YSS20」ダイアログボックス

1) 新規にデータを作成する場合

[新規作成]ボタンをクリック します。→ 「4.1.1 項へ」

2) 既存のデータを元に作成する場合

- パソコンのディスクに保存してあるデータを元に作成する場合
  [ファイルを開く]ボタンをクリックします。→ 「4.1.3 項へ」
- YS100 本体のデータを元に作成する場合
  [YS100 との通信]ボタンをクリックします。→ 「4.2.3 項へ」

4.1.1　YS形名

「YS形名」ダイアログボックス(図4.1.3)が表示されます。

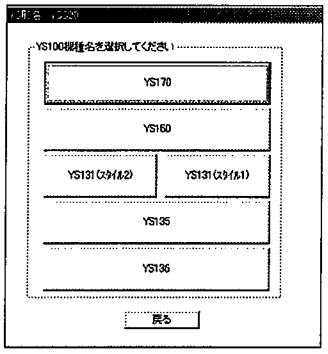


図4.1.3 「YS形名」ダイアログボックス

参　照

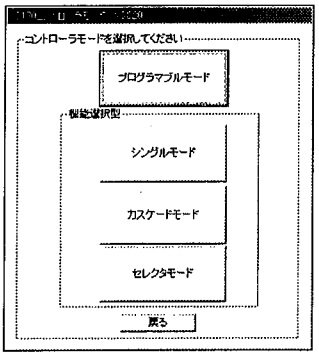
ハウジング後部の端子台上または内器ブラケットの右側に銘板が貼付されています。銘板のMODEL／STYLEをご確認してください。
YS131は，スタイルにより動作設定・レジスタ設定のパラメータが異なります。
(「付録　パラメーター一覧」を参照)

(1) 該当する形名または形名＋スタイルの機種のボタンをクリックします。
(2) 操作後，
- YS130(スタイル1/2)，YS135，YS136を選択した場合は，「YSS20メインメニュー」ダイアログボックス(図4.2.2)を表示します。
- YS150／170を選択した場合は「コントローラモード選択」ダイアログボックス(4.1.2項)を表示します。

4.1.2　コントローラモード選択

「コントローラモード選択」ダイアログボックス(図4.1.4)が表示されます。

YS170のコントローラモード



YS150のコントローラモード

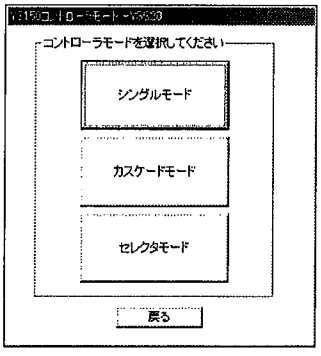


図4.1.4 「コントローラモードの選択」ダイアログボックス

(1) 使用するコントローラモードのボタンをクリックします。
- YS170の場合　シングル／カスケード／セレクタモードとプログラマブルモードが選択できます。
- YS150の場合　シングル／カスケード／セレクタモードが選択できます。

(2) 操作後，「YSS20メインメニュー」ダイアログボックス(4.2節)が表示されます。

4.1.3 ファイル管理

1) ファイルを開く

「ファイルを開く」ダイアログボックス(図 4.1.5)が表示されます。

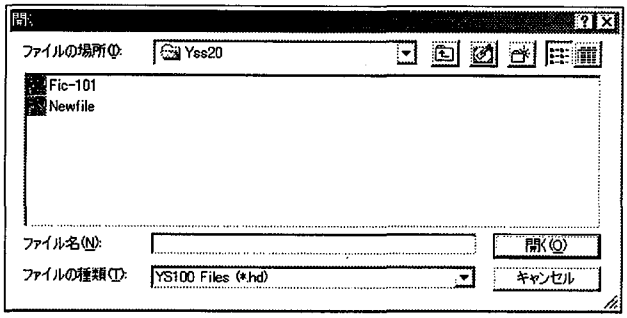


図 4.1.5 「ファイルを開く」ダイアログボックス

(1) [ファイルの場所]ドロップダウンリストボックスから，ユーザーファイルがあるディレクトリまたはフォルダを探します。
(2) ディレクトリまたはフォルダをクリックします。
(3) 読込みしたいユーザーファイル(図 4.1.5 の場合は，FIC-101)をクリックします。
(4) [開く(O)]をクリックします。
「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックス(4.2.2 項)が表示されます。

参 照

ユーザーファイルの格納先のドライブ名，ディレクトリ名は，ツールメニューの[ファイル(F)]－[名前を付けて保存(O)]で「名前を付けて保存」のダイアログボックスから指定できます。

2) 名前を付けて保存

「YSS20 メインメニュー」のツールメニュー[ファイル(F)]－[名前を付けて保存(O)]を選択します。

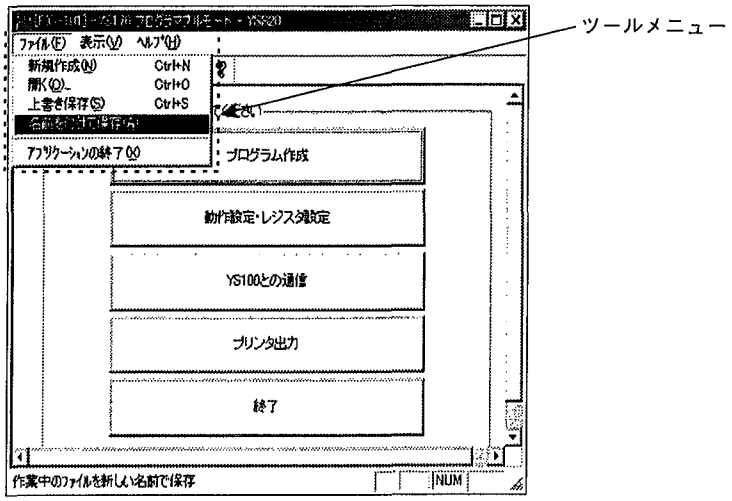


図 4.1.6 「名前を付けて保存」ツールメニュー

「名前を付けて保存」ダイアログボックス(図4.1.6)が表示されます。

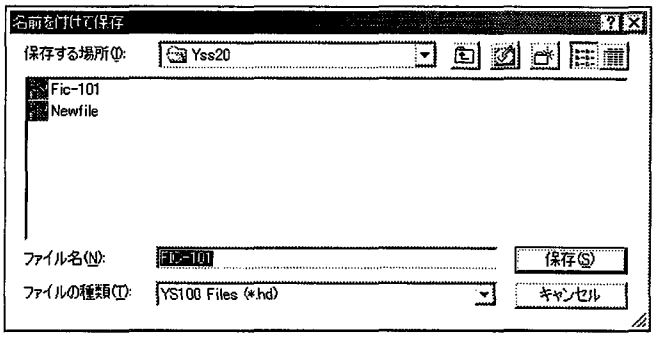


図4.1.7 「名前を付けて保存」ダイアログボックス

(1) [保存する場所]ドロップダウンリストボックスから保存場所をきめます。
(2) [ファイル名]テキストボックスに半角英数字16文字以内範囲でファイル名を入力します。(図4.1.7の場合は，FIC-101)
(3) [保存(S)]をクリックします。

● ユーザーファイルの構成

ユーザーファイルは次の4ファイルで構成されています。

1) 動作／レジスタ設定ファイル：　　**********.pmt
2) 情報ファイル：　　**********.hd
3) プログラムファイル：　　**********.prg
4) ダウンロードファイル：　　**********.ojb

(********** は，半角英数字16文字以内のファイル名，__ は，拡張子)
なお，YS170でPROGパラメータに上記ファイル名(**********)の先頭8文字が表示されます。

4.2 YSS20 メインメニュー

本節では，YSS20 メインメニューでの操作を説明します。
メインメニューから以下の設定や処理を行うことができます。

- プログラム作成
- 動作設定・レジスタ設定
- YS100 との通信(YS100 からの読込みや YS100 への書込みをします)
- プリンター出力
  (ユーザープログラムや動作設定・レジスタ設定パラメータなどを印刷します)
- 終了(プログラム作成パッケージを終了します)

YSS20 メインメニューの構成を図 4.2.1 に示します。

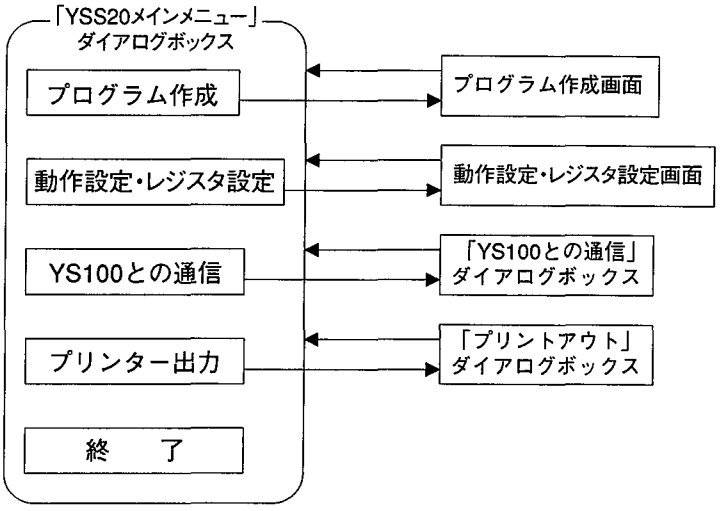


図 4.2.1 メインメニューの構成

ここから，各設定画面やダイアログボックスへ展開します。

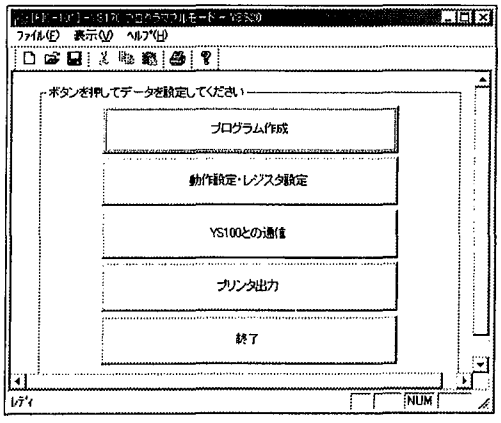


図 4.2.2 「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックス

「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックスの呼出し方

・「YS 形名」ダイアログボックスで YS130 機種ボタンをクリックします。
・「コントローラモード選択」ダイアログボックスでコントローラモードをクリックします。
・「ファイルを開く」ダイアログボックスで［開く(O)］をクリックます。
・「YS100 との通信」ダイアログボックスで［OK］をクリックします。

4.2.1　プログラム作成

ここでは，プログラム作成画面の呼出し方法とユーザープログラムの作成手順を説明します。
ユーザープログラムの作成は，YS170のコントローラモードにて「プログラマブルモード」を選択した場合に使用できる機能です。

1)「ユーザープログラム作成」画面の呼出し方法

(1)「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックスの「プログラム作成」ボタンをクリックします。
(2) 次の画面が表示されます。

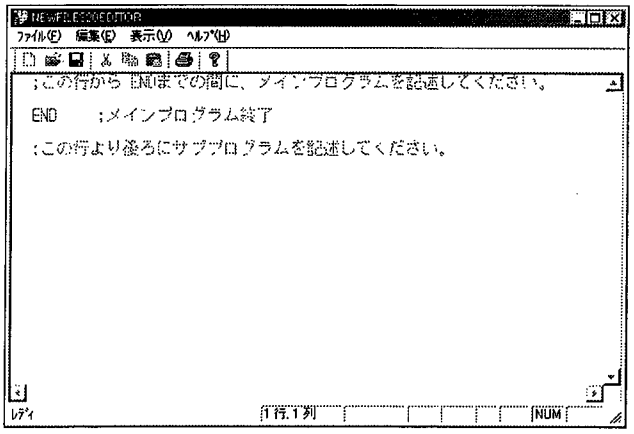


図 4.2.3「プログラム初期」画面

2) ユーザープログラムの作成手順

ユーザープログラムは，次の作成ルールに従って記述します。

<<ユーザープログラム作成ルール>>
- コマンドは，半角英数字で大文字で記述する。
- コマンド後に半角スペース(空白)を入れる。
- コメントは，全角の英数字，漢字でも可。
- コメントの前の“；”は半角。
- 1行の長さは，半角で50文字以内とする。
- タブの使用可。

(1) プログラムを作成します。

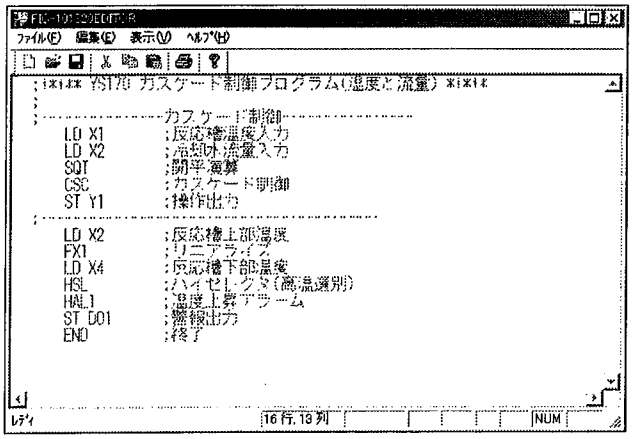


図 4.2.4「プログラム作成」画面

(2) プログラムが完成したら，ツールメニューの[ファイル(F)]-[保存して終了(S) Ctrl+S]をクリックして終了します。

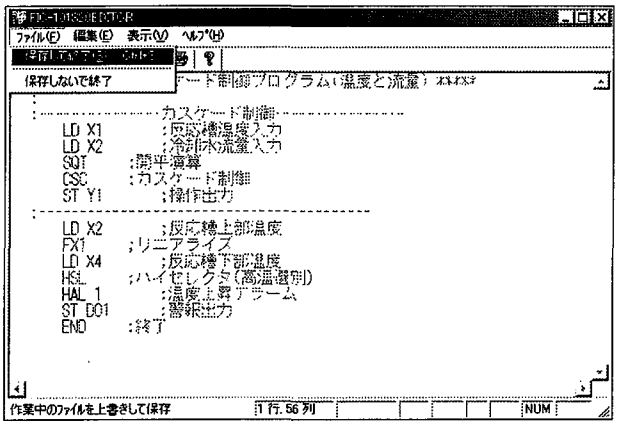


図 4.2.5 「プログラム作成終了」画面

(3) プログラムのコンパイルを行い，その結果が表示されます。

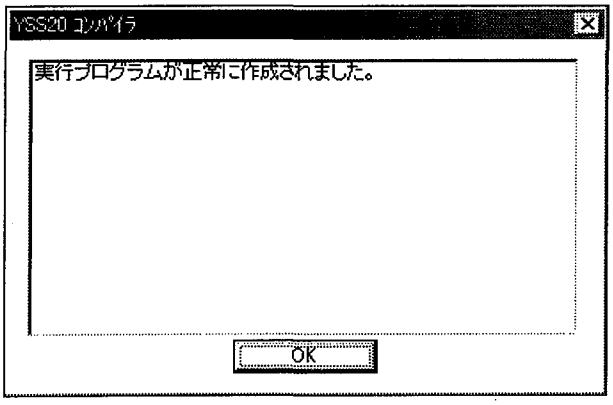


図 4.2.6 「プログラムコンパイル結果」ダイアログボックス

(4)『実行プログラムが正常に作成されました。』が表示されたら完成です。
プログラムコンパイルの結果，エラー表示(例. 未定義の命令語使用)が出力された場合は［OK］ボタンをクリックしてメインメニューに戻り，再度プログラム作成を選択してユーザープログラムの修正を行ってください。(プログラム作成のエラーについては，「5.1章　プログラム作成時のエラーメッセージ」を参照)

(5) [OK]ボタンをクリックします。

(6) ツールメニュー［ファイル(F)］－［名前を付けて保存(A)］／［上書き保存(S)］で完成したユーザープログラムを保存または「YS100との通信」ダイアログボックスでYS170へ書込みを行ってください。(4.2.3節 「YS100との通信」を参照)

4.2.2　動作設定・レジスタ設定

ここでは，動作／レジスタのパラメータ設定について説明します。

1)「動作設定・レジスタ設定」画面の呼出し方

「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックスの「動作設定・レジスタ設定」ボタンをクリックします。

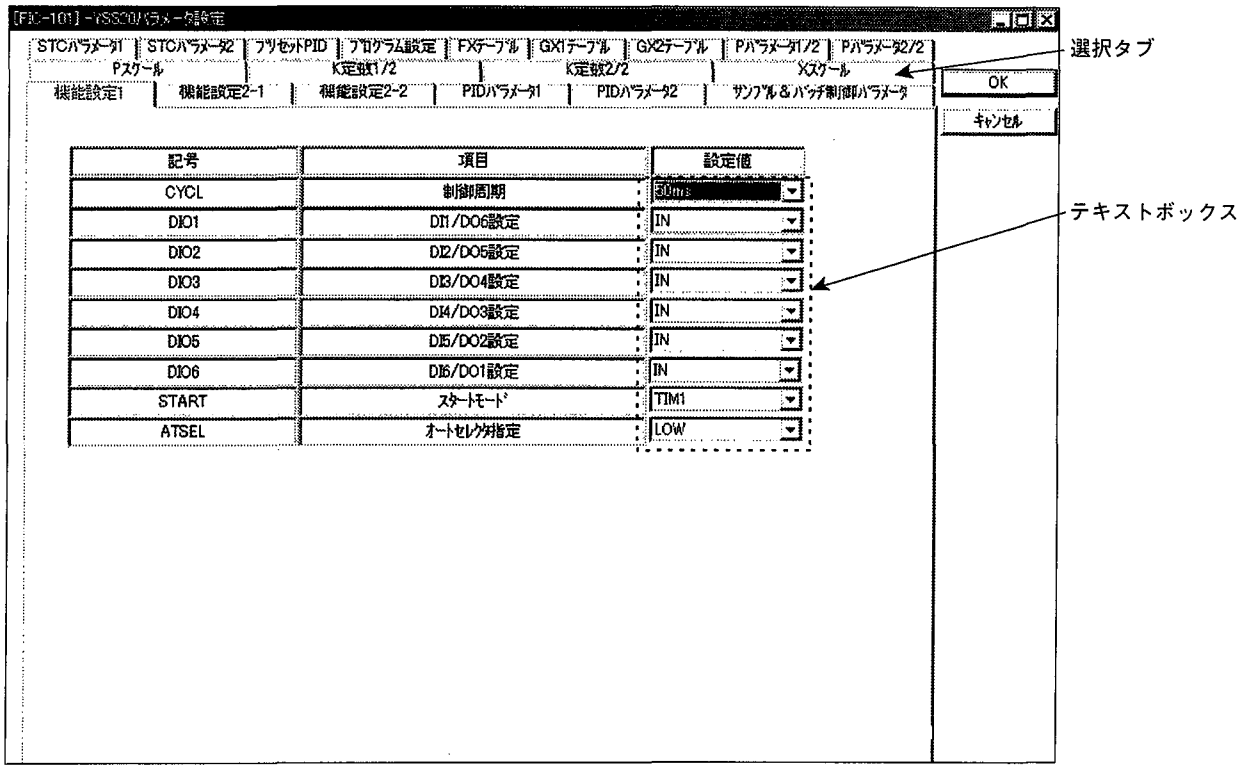


図 4.2.7「動作設定・レジスタ設定」ダイアログボックス

2) パラメータの設定手順

(1)「動作設定・レジスタ設定」画面の設定したい項目の選択タブをクリックします。
(2) クリックされた動作設定・レジスタ設定項目のパラメータが表示されます。
(3) パラメータのテキストボックスにデータを入力するかまたはデータを選択します。
(4) 次の動作設定・レジスタ設定項目の選択タブをクリックします。
(5) [OK]ボタンをクリックして更新します。
(6) 更新しない場合は,[キャンセル]ボタンをクリックします。

注　意

数値データ入力のパラメータに範囲外データを入力してEnterキーを押した場合は，範囲外前のデータが表示されます。

4.2.3 YS100との通信

YS100への動作設定･レジスタ設定パラメータの書込みや読込みやユーザープログラムのテストランなどを行います。
(YS100をパソコンと接続していない場合は，「YS機器を接続してください」ダイアログボックスが表示されます。)

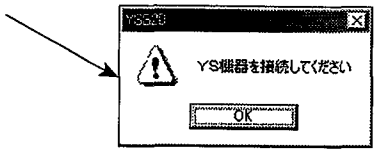


図 4.2.8 「YS機器を接続してください」ダイアログボックス

1)「YS100との通信」ダイアログボックスの呼出し方

「YSS20メインメニュー」ダイアログボックスの「YS100との通信」ボタンをクリックします。

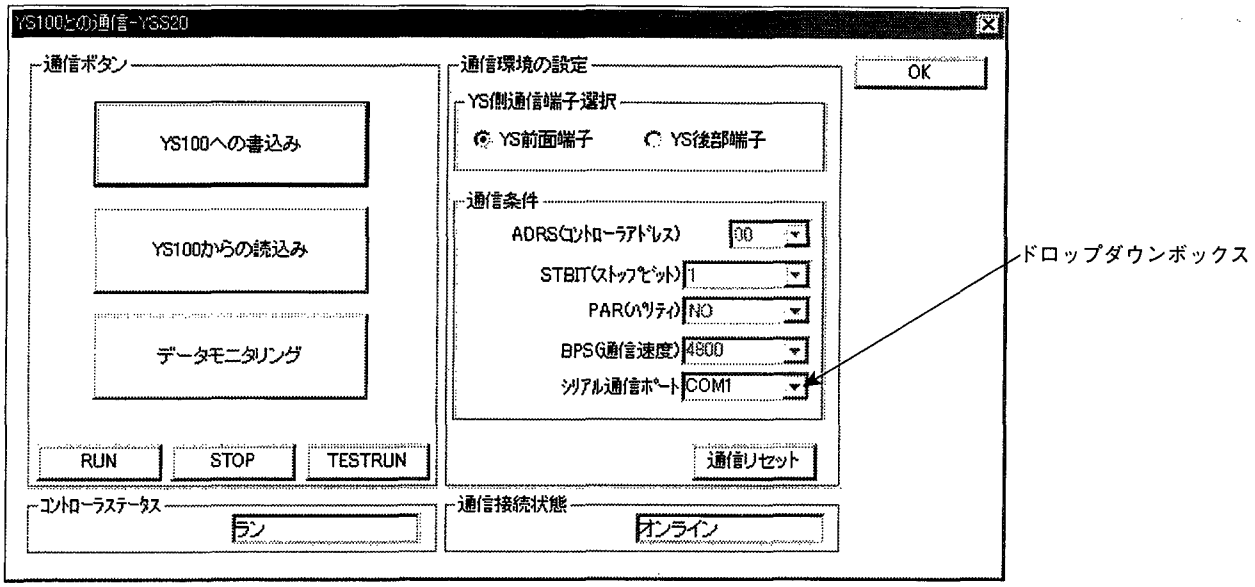


図 4.2.9 「YS100との通信」ダイアログボックス

2) 通信環境の設定

最初にYS側通信端子を選択します。

● 付属の接続ケーブルを使用する場合(YS前面端子)

(1) YS100の内部パネルとパソコンの通信ポートを付属の接続ケーブルで接続します。
(「2.3章 YS100とパソコンの接続」を参照)
(2) [YS前面端子]オプションボタンをクリックします。
(3) 通信条件[シリアル通信ポート]のドロップダウンボタンをクリックしドロップダウンメニューから使用しているパソコンの通信ポートNo.を選択します。

参 照

YS前面端子の場合は，シリアル通信ポートのみを設定してください。

● 通信端子を使用する場合(YS後部端子)

注　意

後部端子通信は，YS100の付加仕様／A31(RS-485通信)付で使用可能な通信手段です。付加仕様／A31なしの場合は，前面端子を使用してください。
後部端子通信の場合は，通信を行うYS100の通信パラメータ(通信アドレス，ストップビット，パリティ，通信速度)と同じ値にします。

(1) パソコンからの通信ケーブルをYS100の通信端子に配線します。
(2) [YS後部端子]オプションボタンをクリックします。
(3) [通信条件]の
- ・ADRS(コントローラアドレス).....YS100本体の通信アドレスと同じ値
- ・STBIT(ストップビット).....YS100本体のストップビットと同じ値
- ・PAR(パリティ).....YS100本体のパリティと同じ値
- ・BPS(通信速度).....YS100本体の通信速度と同じ値
- ・シリアル通信ポート .....使用しているパソコンの通信ポートNo.

をドロップダウンボタンをクリックしドロップダウンメニューから選択します。

参　照

端子通信の配線方法は，IM 1B7C8-03『YS100シリーズRS-485通信(/A31)，DCS通信(/A32)説明書』の「2. 設置」をご覧ください。

3) YS100への書込み

注 意

YS100への書込みを行う場合は，必ずプラントや装置などからYS100を切離したオフライン状態で行ってください。 (書込み後のYS100起動時に出力急変や異常状態となることがあります。)
オフラインでの正常動作確認後，プラントや装置などへ戻してください。

YS100を動作停止状態にしてから，書込みを行ってください。
[RUN]，[STOP] と [TESTRUN] のボタンについて
[RUN] YS100本体の動作開始
[STOP] YS100本体の動作停止
[TESTRUN]*.....YS100本体のテスト動作開始

* YS170に書込んだユーザープログラムをテスト動作させ，プログラムに問題がないか確認します。

参 照

YS170にユーザープログラムを書込んだ後,必ずテストランを実行して負荷率を確認してください。
本体にP&Tレジスタを表示している時やSTC機能動作時には一時的に負荷率が高くなります。
負荷率は，80%以内に抑えてください。ただし，STC機能を使用する時は制御周期ごとの最大負荷率が次のような値以下になるようにしてください。

・50ms(48%)
・100ms(64%)
・200ms(72%)

負荷率が高過ぎる場合は，アラームランプが点灯し，アラーム画面に「OVER」が表示されます。
この場合には，ユーザプログラムが無限ループに入っている可能性が高いため，本体電源のOFF／ONしたりラン状態にしないでください。(「OVER」は，テストラン実行時のみ表示されます)

注 意

ユーザープログラムが原因でYS170がフェイルした場合の処理は次のとおりです。
(1) YS170本体と前面端子接続を行い，「YS100との通信」で[STOP]ボタンをクリックします。
(2) 本体のユーザープログラムを読込んで保存します。
(3) 新規作成で「END」命令だけのユーザープログラム作成し動作設定・レジスタ設定のパラメータデータと共に本体に書込みます。(この時，制御周期は「200ms」にしてください)
(4) 書込み後，「YS100との通信」で[RUN]ボタンをクリックします。
(5) YS170本体の電源をOFFします。
(6) 10秒間のOFF後，電源をONします。(OFF時間が短いと正常に復帰しません)
(7) YS170が正常復帰します。

4) YS100 からの読込み

YS100 を動作停止状態にしてから，読込みを行ってください。

YS170本体から保存ファイルがパソコン側にないユーザープログラムを読込んだ場合は，

・ ユーザープログラムのコメントが消える。

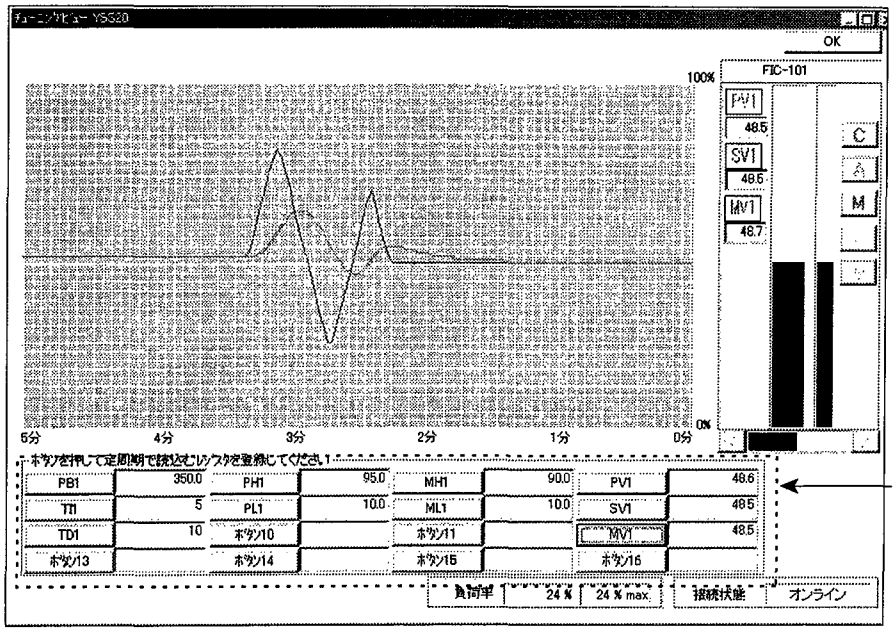
・ ユーザープログラムのステップごとの記述が元プログラムと異なる。

となります。

5) データモニタリング

YS100本体の入出力やレジスタなどモニタしながら，PIDパラメータを調整する機能です。

チューニングビュー画面でレジスタを変更した場合は，必ずYS100から読込みを行いレジスタデータに不一致がないようにしてください。



この場所に，入力やレジスタなどを指定してモニタリングができます。

図 4.2.10 「データモニタリング」ダイアログボックス

表示形式は，YS100本体の各パラメータが持つデータ形式に従います。

ただし，工業量表示はスケール設定されていても％形式で表示されます。

モニタしたい入出力やレジスタがある場合は，任意の空白ボタンをクリックすると図4.2.12のダイアログボックスが表示されます。　1つの空白ボタンには，1種類の入出力やレジスタを選択することができます。　[OK]ボタンをクリックして設定します。

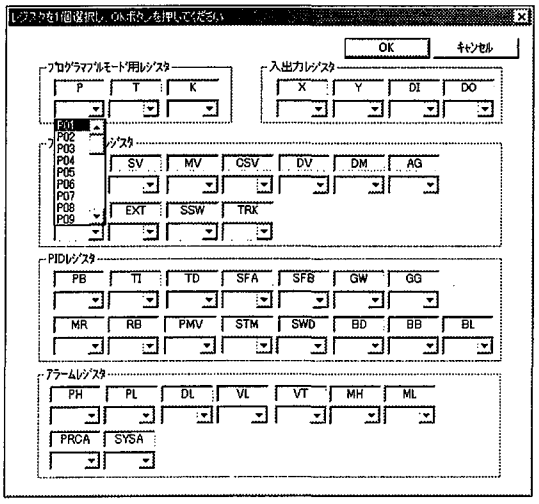


図 4.2.12 「入出力・レジスタ設定」ダイアログボックス

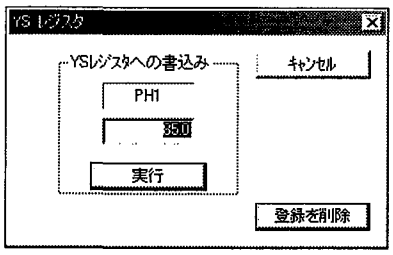


図 4.2.13 「入出力・レジスタ書込み」ダイアログボックス

登録された入出力・レジスタのボタンをクリックすると表示されます。書込みできない入出力・レジスタの場合は，チューニングビュー画面のデータは更新されません。

4.2.4 プリンター出力

ユーザープログラムや動作設定・レジスタ設定のパラメータなどを印刷します。次のことがプリンター出力できます。

- ファイル情報
- プログラムリスト
- 動作設定・レジスタ設定リスト

1)「YSS20 印刷」ダイアログボックスの呼出し方

「YSS20 メインメニュー」ダイアログボックスの「プリンター出力」ボタンをクリックします。

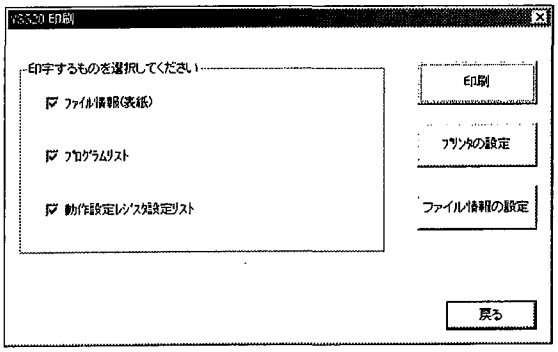


図 4.2.14 「プリンター出力」ダイアログボックス

2) ダイアログボックスの設定

● 「印刷」ボタンをクリックし[OK]ボタンをクリックすると[印字するものを選択してください]で選択したものが印刷されます。
印刷しない場合は,[キャンセル]ボタンをクリックします。

● プリンターの設定
・プリンターの種類
・印刷範囲
・印刷部数
を設定します。　設定を確認し良ければ[OK]ボタンを押します。

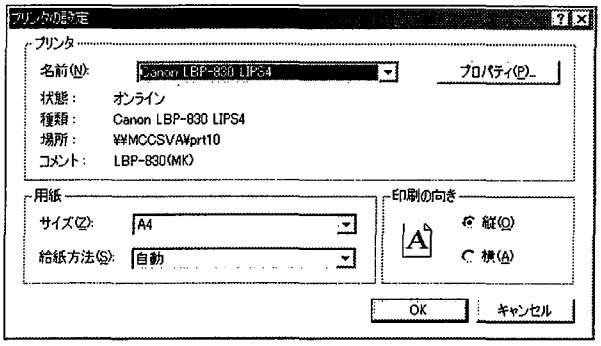


図 4.2.15 「プリンターの設定」ダイアログボックス

● ファイル情報の設定
ファイルのデータ情報(装置名，客先名や仕様書番号など)が記入できます。
文字は，全角半角英数字漢字が使用できます。

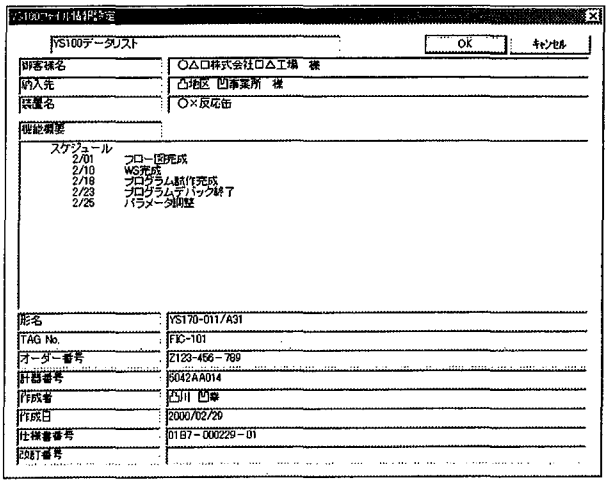
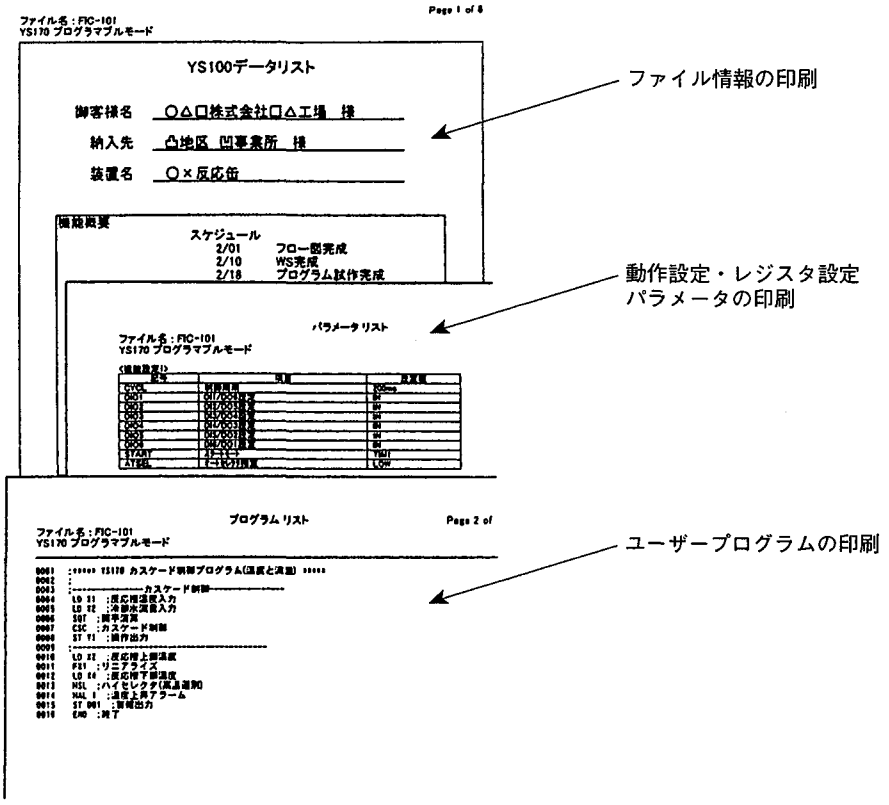


図 4.2.16 「ファイル情報の設定」ダイアログボックス

3) 印刷するものを選択してください

印刷したい項目を選択します。(✓ を付けます。)

● 印刷例



5. エラーメッセージ

本章では，プログラム作成パッケージ使用中に表示するエラーメッセージについて説明します。
エラーメッセージには
(1)プログラム作成時(コンパイル)のエラーメッセージ
(2)通信時のエラーメッセージ
があります。

5.1 プログラム作成時のエラーメッセージ

ユーザープログラム作成後のコンパイル時に，表示されるエラーメッセージです。

表 5.1.1 プログラム作成時(コンパイル)に表示されるエラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対策
ラベルの2重定義	同じラベルが複数存在しています。ラベル名を変更してください。
ステップ数のオーバー	メインプログラム+サブプログラムの総ステップ数を400(YS170スタイル3，4)または200(YS170スタイル1，2)以内，シミュレーションプログラムのステップ数を20以内にしてください。
未定義の命令語使用	命令語にスペルミスなどの誤りがあります。命令語を確認してください。
不適当なオペランド使用	オペランドの数字範囲，スペリングに誤りがあります。オペランドを確認してください。
メインプログラムにENDがない。	メインプログラムの最後にENDがないので付けてください。
ラベル未定義	GO，GIF文のラベルと飛び先ラベルが不一致か飛び先がありません。ラベルと飛び先を確認してください。
サブプログラム未定義	GOSUB，GIFSUB文のサブプログラム名と実際のサブプログラム名称が不一致かサブプログラムがありません。サブプログラム名称とサブプログラムを確認してください。
サブプログラムにRTNがない。	サブプログラムの最後にRTNがないので付けてください。
サブプログラムのネスティング	サブプログラムの中でGOSUB，GIFSUB文を使用しています。GOSUB，GIFSUB文を削除してください。
GO，GIF文のエラー	GO，GIF文の分岐先に誤りがあります。 ・メインプログラムとサブプログラム ・メインプログラムとシミュレーションプログラム ・サブプログラムとシミュレーションプログラム 以上のプログラム間では，GO，GIF文の分岐はできません。プログラムを修正してください。
ラベル数オーバー	ラベルの総数を420以内にしてください。
ラベル文字数オーバー	ラベルの文字数を10文字以内にしてください。
サブプログラム位置が不適当	サブプログラムはメインプログラムのEND後にシミュレーションプログラムはプログラムの1番最後に作成します。
ENDの位置が不適当	サブプログラムまたはシミュレーションプログラムにENDがあるので削除してください。

5.2 通信時のエラーメッセージ

YS100との通信時に，表示されるエラーメッセージです。

表5.2.1 YS100との通信時に，表示されるエラーメッセージ一覧

エラーメッセージ	対策
ダウンロードするデータがありません。	実行プログラムの作成を再度行ってから，再通信してください。
通信環境を確認してください。	パソコンとYS100の通信設定，配線などを確認してください。
制御を停止してください。	ユーザープログラムを停止します。
データをダウンロードできません。	YS100が他の機種と通信中か，通信中にYS100のキー操作を行っていないかを確認し，再実行してください。
データをアップロードできません。	
ダウンロード／アップロード領域のデータが不一致です。	実行プログラムの作成を再度行ってから，再通信してください。
制御が停止できません。	YS100が他の機種と通信中か，通信中にYS100のキー操作を行っていないかを確認し，再実行してください。
制御が再開できません。	
テストランができません。	
EEPROMがアクセス中です。	再通信してください。
RAMからEEPROMへデータを転送できません。	
コントローラをプログラムモードにしてください。	YS100をプログラムモードにします。
コントローラの機種が違います。	正しい機種を接続してください。
コントローラが旧スタイルです。	YS170のスタイル1，2は，201ステップ以上のユーザープログラムと機器間通信プログラムは使用できません。

付録 パラメーター覧

YSS20 プログラム作成パッケージにて設定可能なパラメータを載せています。
パラメーター覧以外のパラメータについては，本体での設定となります。

1) YS170 プログラマブル形のパラメータ
2) YS150 ／ 170 機能選択形のパラメータ
3) YS136 のパラメータ
4) YS135 のパラメータ
5) YS131(スタイル 1 と 2)のパラメータ

表 1. 動作設定・レジスタ設定項目と YS150 ／ YS170 のコントローラモード

動作／レジスタ	コントローラモード			
	プログラマブルモード	シングルモード	カスケードモード	セレクタモード
機能設定1	○	○	○	○
機能設定2-1	○	○	○	○
機能設定2-2	○	×	○	○
機能設定3	×	○	○	○
PIDパラメータ1	○	○	○	○
PIDパラメータ2	○	×	○	○
サンプル&バッチ制御パラメータ	○	×	×	×
STCパラメータ1	○	○	○	○
STCパラメータ2	○	×	○	○
機能固定型パラメータ	×	○	○	○
プリセットPID	○	×	×	×
プログラム設定	○	×	×	×
FXテーブル	○	○	○	○
GX1/2テーブル	○	×	×	×
Pパラメータ1/2～2/2	○	×	×	×
Pスケール	○	×	×	×
K定数1/2～2/2	○	×	×	×
Xスケール	○	×	×	×

パラメータ表の“表示欄”のⅠ～Ⅲは，YS100 本体の表示と設定を表しています。

表 2. 本体表示と設定

	YS100本体	
	表示	設定
Ⅰ	×	×
Ⅱ	○	×
Ⅲ	○	○

1) YS170 プログラマブル形のパラメータ

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CYCL	制御周期	Ⅰ	200ms, 100ms, 50ms	200ms	選　択
DIO1	DI1／DO6設定	Ⅱ	IN, OUT	IN	
DIO2	DI2／DO5設定		IN, OUT	IN	
DIO3	DI3／DO4設定		IN, OUT	IN	
DIO4	DI4／DO3設定		IN, OUT	IN	
DIO5	DI5／DO2設定		IN, OUT	IN	
DIO6	DI6／DO1設定		IN, OUT	IN	
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	
ATSEL	オートセレクタ指定		LOW, HIGH	LOW	

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
BMOD1	バックアップモード1		BUM, BUA	BUM	
CNT1	制御タイプ1		PID, S-PI, BATCH, PD	PID	
ALG1	制御演算式1		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT1	制御動作方向1		RVS, DIR	RVS	
VDIR1	バルブ開度方向1		C-O, O-C	C-O	
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

機能設定2-2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD2	カスケードモード2	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
BMOD2	バックアップモード2		BUM, BUA	BUM	
CNT2	制御タイプ2		PID, S-PI, BATCH, PD	PID	
ALG2	制御演算式2		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT2	制御動作方向2		RVS, DIR	RVS	
VDIR2	バルブ開度方向2		C-O, O-C	C-O	
SCH2	スケール100%値2	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL2	スケール0%値2		-9999～9999	0	
SCDP2	小数点位置2	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV2	目盛り分割2	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT2	工業量単位2	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT2	トレンド記録時間幅2	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG2	タグNo. 2	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

PIDパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV1	設定値1のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PB1	比例帯1		2.0～999.9	%	999.9	
TI1	積分時間1	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD1	微分時間1		0～9999*	S	0	
SFA1	設定値フィルタA-1	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB1	設定値フィルタB-1		0.000～1.000	なし	0.000	
GW1	非線形制御不感帯幅1		0.0～100.0	%	0.0	
GG1	非線形制御ゲイン1		0.000～1.000	なし	1.000	
PH1	測定値1上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL1	偏差警報設定値1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL1	変化率警報変化幅1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT1	変化率警報変化時間1	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH1	操作信号1上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML1	操作信号1下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
MR1	マニュアルリセット値1		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB1	リセットバイアス値1		0.0～106.3	%	0.0	
PMV1	プリセット出力1		-6.3～106.3	%	-6.3	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

PIDパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV2	設定値2のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PB2	比例帯2		2.0～999.9	%	999.9	
TI2	積分時間2	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD2	微分時間2		0～9999*	S	0	
SFA2	設定値フィルタA-2	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB2	設定値フィルタB-2		0.000～1.000	なし	0.000	
GW2	非線形制御不感帯幅2		0.0～100.0	%	0.0	
GG2	非線形制御ゲイン2		0.000～1.000	なし	1.000	
PH2	測定値2上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL2	測定値2下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL2	偏差警報設定値2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL2	変化率警報変化幅2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT2	変化率警報変化時間2	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH2	操作信号2上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML2	操作信号2下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
MR2	マニュアルリセット値2		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB2	リセットバイアス値2		0.0～106.3	%	0.0	
PMV2	プリセット出力2		-6.3～106.3	%	-6.3	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

サンプル＆バッチ制御パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
STM1	サンプルPIサンプル時間1	Ⅲ	0～9999	S	0	整数入力
SWD1	サンプルPI制御時間1		0～9999	S	0	
BD1	バッチPID偏差設定値1	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0	実数入力
BB1	バッチPIDバイアス値1		0.0～100.0	%	0.0	
BL1	バッチPIDロックアップ幅1		0.0～100.0	%	0.0	
STM2	サンプルPIサンプル時間2	Ⅲ	0～9999	S	0	整数入力
SWD2	サンプルPI制御時間2		0～9999	S	0	
BD2	バッチPID偏差設定値2	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0	実数入力
BB2	バッチPIDバイアス値2		0.0～100.0	%	0.0	
BL2	バッチPIDロックアップ幅2		0.0～100.0	%	0.0	

STCパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
STC	STCモード設定	Ⅲ	OFF, DISP, ON, ATSTUP	なし	OFF	選　択
IP1	プロセスタイプ1		STATIC, DYNAM	なし	STATIC	
TR1	プロセス応答時間1	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB1	ノイズバンド1	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS1	制御目標タイプ1	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI1	MV印加信号幅1	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX1	比例帯1上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN1	比例帯1下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX1	積分時間1上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN1	積分時間1下限値		1～9999	S	1	
DMX1	微分時間1上限値		0～9999	S	2000	

STCパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
IP2	プロセスタイプ2	Ⅲ	STATIC, DYNAM	なし	STATIC	選　択
TR2	プロセス応答時間2	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB2	ノイズバンド2	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS2	制御目標タイプ2	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI2	MV印加信号幅2	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX2	比例帯2上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN2	比例帯2下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX2	積分時間2上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN2	積分時間2下限値		1～9999	S	1	
DMX2	微分時間2上限値		0～9999	S	2000	

プリセットPIDパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PPB1～8	プリセット比例帯	Ⅲ	2.0～999.9	%	999.9	実数入力
PTI1～8	プリセット積分時間		1～9999	S	1000	整数入力
PTD1～8	プリセット微分時間		0～9999*	S	0	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

プログラム定数パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PGT01～10	PG時間1～10	Ⅲ	0～9999	S	0	整数入力
PGO01～10	PG折線出力1～10		-25.0～125.0	%	0.0	実数入力

FXテーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
FXO101～111	FX出力設定値1-1～1-11	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0～100.0	実数入力
FXO201～211	FX出力設定値2-1～2-11		0.0～100.0	%	0.0～100.0	

GX1テーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
GXI101～111	GX入力折点1-1～1-11	Ⅲ	-25.0～125.0	%	0.0～100.0	実数入力
GXO101～111	GX出力設定値1-1～1-11		-25.0～125.0	%	0.0～100.0	

GX2テーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
GXI201～211	GX入力折点2-1～2-11	Ⅲ	-25.0～125.0	%	0.0～100.0	実数入力
GXO201～211	GX出力設定値2-1～2-11		-25.0～125.0	%	0.0～100.0	

Pパラメータ1/2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
P01～15	P設定値	Ⅲ	-800.0～800.0(%換算)	%	0.0	実数入力
	Pコメント			なし		文字入力

Pパラメータ2/2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
P16～30	P設定値	Ⅲ	-800.0～800.0(%換算)	%	0.0	実数入力
	Pコメント			なし		文字入力

Pスケール

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PSH1～8	P100%値	Ⅰ	-9999～9999	なし	1000	整数入力
PSL1～8	P0%値		-9999～9999		0	
PSD1～8	P小数点位置		1，2，3，4	なし	3	選　択

K定数1/2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
K01～15	K設定値01～15	Ⅱ	-800.0～800.0(%換算)	%	0.0	実数入力
	Kコメント			なし		文字入力

K定数2/2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
K16～30	K設定値16～30	Ⅱ	-800.0～800.0(%換算)	%	0.0	実数入力
	Kコメント			なし		文字入力

Xスケール

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
XSH1～5	X100%値	Ⅰ	-9999～9999	なし	1000	整数入力
XSL1～5	X0%値		-9999～9999		0	
XSD1～5	X小数点位置		1，2，3，4	なし	3	選　択

2) YS170／150の機能選択形のパラメータ

2-1)シングルモード

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
BMOD1	バックアップモード1		BUM, BUA	BUM	
CNT1	制御タイプ1		PID, PD, －	PID	
ALG1	制御演算式1		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT1	制御動作方向1		RVS, DIR	RVS	
VDIR1	バルブ開度方向1		C-O, O-C	C-O	
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

YS150は“-YS150-”表示です。

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PFKEY	PFキー機能指定	Ⅲ	_, STC	_	選　択
DI1F	DI1機能設定		_, E-MAN, E-AUT, E-PMV, E-TRK, E-STC	_	
DI1D	DI1動作接点方向		OPN, CLS	OPN	
AOUT	アラーム出力接点状態指定		NC, NO	NC	
TRKSW	トラッキング機能指定		－, SVTRK, PVTRK	－	
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FX1	測定値1の10折線関数演算指定		OFF, ON	OFF	
CSR1	カスケード入力値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
CSW1	カスケード入力値1比率演算指定		OFF, ON	OFF	
FSW	フィードフォワードゲイン演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FON	フィードフォワード出力加算指定		OFF, ON	OFF	

PIDパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV1	設定値1のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PB1	比例帯1		2.0～999.9	%	999.9	
TI1	積分時間1	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD1	微分時間1		0～9999*	S	0	
SFA1	設定値フィルタA-1	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB1	設定値フィルタB-1		0.000～1.000	なし	0.000	
GW1	非線形制御不感帯幅1		0.0～100.0	%	0.0	
GG1	非線形制御ゲイン1		0.000～1.000	なし	1.000	
PH1	測定値1上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL1	偏差警報設定値1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL1	変化率警報変化幅1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT1	変化率警報変化時間1	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH1	操作信号1上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML1	操作信号1下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
MR1	マニュアルリセット値1		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB1	リセットバイアス値1		0.0～106.3	%	0.0	
PMV	プリセット出力		-6.3～106.3	%	-6.3	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

STCパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
STC	STCモード設定	Ⅲ	OFF, DISP, ON, ATSTUP	なし	OFF	選　択
IP1	プロセスタイプ1		STATIC, DYNAM	なし	STATIC	
TR1	プロセス応答時間1	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB1	ノイズバンド1	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS1	制御目標タイプ1	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI1	MV印加信号幅1	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX1	比例帯1上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN1	比例帯1下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX1	積分時間1上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN1	積分時間1下限値		1～9999	S	1	
DMX1	微分時間1上限値		0～9999	S	2000	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG1	測定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CLC1	カスケード設定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
CLG1	カスケード設定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CGN1	カスケード設定値1比率演算ゲイン		-8.000～8.000	なし	1.000	
CBI1	カスケード設定値1比率演算入力バイアス値	Ⅲ	-106.3～106.3	%	0.0	実数入力
CBO1	カスケード設定値1比率演算入力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	
FLG	フィードフォワード一次遅れ時定数	Ⅲ	0.0～800.0	S	0.0	実数入力
FGN	フィードフォワードゲイン		-8.000～8.000	なし	0.000	
FBI	フィードフォワード入力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	
FBO	フィードフォワード出力バイアス値		-800.0～800.0	%	0.0	
TLG	トラッキング入力一次遅れ時定数	Ⅲ	0.0～800.0	S	0.0	実数入力

FXテーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
FXO101～111	FX出力設定値1-1～1-11	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0～100.0	実数入力
FXO201～211	FX出力設定値2-1～2-11		0.0～100.0	%	0.0～100.0	

2-2)カスケードモード
機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
BMOD1	バックアップモード1		BUM, BUA	BUM	
CNT1	制御タイプ1		PID	PID	
ALG1	制御演算式1		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT1	制御動作方向1		RVS, DIR	RVS	
VDIR1	バルブ開度方向1		C-O, O-C	C-O	
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

YS150は“-YS150-”表示です。

機能設定2-2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CNT2	制御タイプ2	Ⅲ	PID	PID	選　択
ALG2	制御演算式2		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT2	制御動作方向2		RVS, DIR	RVS	
SCH2	スケール100%値2	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL2	スケール0%値2		-9999～9999	0	
SCDP2	小数点位置2	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV2	目盛り分割2	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT2	工業量単位2	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT2	トレンド記録時間幅2	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG2	タグNo. 2	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

YS150は“-YS150-”表示です。

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PFKEY	PFキー機能指定	Ⅲ	__, STC	__	選　択
DI1F	DI1機能設定		__, E-PMV, E-STC, E-O/C	__	
DI1D	DI1動作接点方向		OPN, CLS	OPN	
AOUT	アラーム出力接点状態指定		NC, NO	NC	
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FX1	測定値1の10折線関数演算指定		OFF, ON	OFF	
CSR1	カスケード入力値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
CSW1	カスケード入力値1比率演算指定		OFF, ON	OFF	
FSW	フィードフォワードゲイン演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FON	フィードフォワード出力加算指定		OFF, ON	OFF	
PSR2	測定値2開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FX2	測定値2の10折線関数演算指定		OFF, ON	OFF	

PIDパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV1	設定値1のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PB1	比例帯1		2.0～999.9	%	999.9	
TI1	積分時間1	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD1	微分時間1		0～9999*	S	0	
SFA1	設定値フィルタA-1	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB1	設定値フィルタB-1		0.000～1.000	なし	0.000	
GW1	非線形制御不感帯幅1		0.0～100.0	%	0.0	
GG1	非線形制御ゲイン1		0.000～1.000	なし	1.000	
PH1	測定値1上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL1	偏差警報設定値1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL1	変化率警報変化幅1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT1	変化率警報変化時間1	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH1	操作信号1上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML1	操作信号1下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
MR1	マニュアルリセット値1		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB1	リセットバイアス値1		0.0～106.3	%	0.0	
PMV1	プリセット出力1		-6.3～106.3	%	-6.3	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

PIDパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV2	設定値2のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	選　択
PB2	比例帯2		2.0～999.9	%	999.9	
TI2	積分時間2		1～9999	S	1000	整数入力
TD2	微分時間2	Ⅲ	0～9999*	S	0	
SFA2	設定値フィルタA-2		0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB2	設定値フィルタB-2	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	
GW2	非線形制御不感帯幅2		0.0～100.0	%	0.0	
GG2	非線形制御ゲイン2		0.000～1.000	なし	1.000	
PH2	測定値2上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL2	測定値2下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL2	偏差警報設定値2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL2	変化率警報変化幅2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT2	変化率警報変化時間2	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH2	操作信号2上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML2	操作信号2下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB2	リセットバイアス値2		0.0～106.3	%	0.0	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

STCパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
STC	STCモード設定	Ⅲ	OFF, DISP, ON, ATSTUP	なし	OFF	選　択
IP1	プロセスタイプ1		STATIC, DYNAM	なし	STATIC	
TR1	プロセス応答時間1	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB1	ノイズバンド1	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS1	制御目標タイプ1	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI1	MV印加信号幅1	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX1	比例帯1上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN1	比例帯1下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX1	積分時間1上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN1	積分時間1下限値		1～9999	S	1	
DMX1	微分時間1上限値		0～9999	S	2000	

STCパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
IP2	プロセスタイプ2	Ⅲ	STATIC, DYNAM	なし	STATIC	選　択
TR2	プロセス応答時間2	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB2	ノイズバンド2	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS2	制御目標タイプ2	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI2	MV印加信号幅2	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX2	比例帯2上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN2	比例帯2下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX2	積分時間2上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN2	積分時間2下限値		1～9999	S	1	
DMX2	微分時間2上限値		0～9999	S	2000	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG1	測定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CLC1	カスケード設定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
CLG1	カスケード設定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CGN1	カスケード設定値1比率演算ゲイン		-8.000～8.000	なし	1.000	
CBI1	カスケード設定値1比率演算入力バイアス値	Ⅲ	-106.3～106.3	%	0.0	実数入力
CBO1	カスケード設定値1比率演算入力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	
FLG	フィードフォワード一次遅れ時定数	Ⅲ	0.0～800.0	S	0.0	実数入力
FGN	フィードフォワードゲイン		-8.000～8.000	なし	0.000	
FBI	フィードフォワード入力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	
FBO	フィードフォワード出力バイアス値		-800.0～800.0	%	0.0	
PLC2	測定値2開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG2	測定値2一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	

FXテーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
FXO101～111	FX出力設定値1-1～1-11	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0～100.0	実数入力
FXO201～211	FX出力設定値2-1～2-11		0.0～100.0	%	0.0～100.0	

2-3)セレクタモード
機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	選　択
ATSEL	オートセレクタ指定		LOW, HIGH	LOW	

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
BMOD1	バックアップモード1		BUM, BUA	BUM	
CNT1	制御タイプ1		PID	PID	
ALG1	制御演算式1		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT1	制御動作方向1		RVS, DIR	RVS	
VDIR1	バルブ開度方向1		C-O, O-C	C-O	
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

YS150は“-YS150-”表示です。

機能設定2-2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD2	カスケードモード2	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
CNT2	制御タイプ2		PID	PID	
ALG2	制御演算式2		I-PD, PI-D, SVF	I-PD	
ACT2	制御動作方向2		RVS, DIR	RVS	
SCH2	スケール100%値2	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL2	スケール0%値2		-9999～9999	0	
SCDP2	小数点位置2	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV2	目盛り分割2	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT2	工業量単位2	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT2	トレンド記録時間幅2	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG2	タグNo. 2	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS170-	英数入力

YS150は“-YS150-”表示です。

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PFKEY	PFキー機能指定	Ⅲ	__, STC	__	選　択
DI1F	DI1機能設定		__, E-PMV, E-STC, E-L/R	__	
DI1D	DI1動作接点方向		OPN, CLS	OPN	
AOUT	アラーム出力接点状態指定		NC, NO	NC	
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FX1	測定値1の10折線関数演算指定		OFF, ON	OFF	
CSR1	カスケード入力値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
CSW1	カスケード入力値1比率演算指定		OFF, ON	OFF	
PSR2	測定値2開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
FX2	測定値2の10折線関数演算指定		OFF, ON	OFF	
CSR2	カスケード入力値2開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
CSW2	カスケード入力値2比率演算指定		OFF, ON	OFF	

PIDパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV1	設定値1のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PB1	比例帯1		2.0～999.9	%	999.9	
TI1	積分時間1	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD1	微分時間1		0～9999*	S	0	
SFA1	設定値フィルタA-1	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB1	設定値フィルタB-1		0.000～1.000	なし	0.000	
GW1	非線形制御不感帯幅1		0.0～100.0	%	0.0	
GG1	非線形制御ゲイン1		0.000～1.000	なし	1.000	
PH1	測定値1上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL1	偏差警報設定値1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL1	変化率警報変化幅1		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT1	変化率警報変化時間1	Ⅲ	1～9999	S	1	整数入力
MH1	操作信号1上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML1	操作信号1下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	
RB1	リセットバイアス値1		0.0～106.3	%	0.0	
PMV1	プリセット出力1		-6.3～106.3	%	-6.3	

＊：動作範囲は2～9999 Sです.

PIDパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV2	設定値2のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
SSW	セレクタ制御選択スイッチ		AUT, 1, 2	なし	AUT	選　択
PB2	比例帯2		2.0～999.9	%	999.9	実数入力
TI2	積分時間2	Ⅲ	1～9999	S	1000	整数入力
TD2	微分時間2		0～9999*	S	0	
SFA2	設定値フィルタA-2	Ⅲ	0.000～1.000	なし	0.000	実数入力
SFB2	設定値フィルタB-2		0.000～1.000	なし	0.000	
GW2	非線形制御不感帯幅2		0.0～100.0	%	0.0	
GG2	非線形制御ゲイン2		0.000～1.000	なし	1.000	
PH2	測定値2上限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
PL2	測定値2下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
DL2	偏差警報設定値2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VL2	変化率警報変化幅2		0.0～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	
VT2	変化率警報変化時間2	Ⅲ	1～9999		1	整数入力
RB2	リセットバイアス値2	Ⅲ	0.0～106.3	S	0.0	実数入力

＊：動作範囲は2～9999 Sです.　　%

STCパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
STC	STCモード設定	Ⅲ	OFF, DISP, ON, ATSTUP	なし	OFF	選　択
IP1	プロセスタイプ1		STATIC, DYNAM	なし	STATIC	
TR1	プロセス応答時間1	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB1	ノイズバンド1	Ⅲ	0.0～20.0(%換算)	工業量単位	0.0	実数入力
OS1	制御目標タイプ1	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI1	MV印加信号幅1	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX1	比例帯1上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMN1	比例帯1下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX1	積分時間1上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN1	積分時間1下限値		1～9999	S	1	
DMX1	微分時間1上限値		0～9999	S	2000	

STCパタメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
IP2	プロセスタイプ2	Ⅲ	STATIC, DYNAM	なし	STATIC	選　択
TR2	プロセス応答時間2	Ⅲ	4～9999	S	300	整数入力
NB2	ノイズバンド2	Ⅲ	0.0～20.0（%換算）	工業量単位	0.0	実数入力
OS2	制御目標タイプ2	Ⅲ	ZERO, MIN, MED, MAX	なし	MED	選　択
MI2	MV印加信号幅2	Ⅲ	0.0～20.0	%	5.0	実数入力
PMX2	比例帯2上限値		2.0～999.9	%	999.9	
PMX2	比例帯2下限値		2.0～999.9	%	2.0	
IMX2	積分時間2上限値	Ⅲ	1～9999	S	9999	整数入力
IMN2	積分時間2下限値		1～9999	S	1	
DMX2	微分時間2上限値		0～9999	S	2000	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG1	測定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CLC1	カスケード設定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
CLG1	カスケード設定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CGN1	カスケード設定値1比率演算ゲイン		-8.000～8.000	なし	1.000	
CBI1	カスケード設定値1比率演算入力バイアス値	Ⅲ	-106.3～106.3	%	0.0	実数入力
CBO1	カスケード設定値1比率演算出力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	
PLC2	測定値2開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG2	測定値2一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CLC2	カスケード設定値2開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
CLG2	カスケード設定値2一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
CGN2	カスケード設定値2比率演算ゲイン		-8.000～8.000	なし	1.000	
CBI2	カスケード設定値2比率演算入力バイアス値	Ⅲ	-106.3～106.3	%	0.0	実数入力
CBO2	カスケード設定値2比率演算入力バイアス値		-106.3～106.3	%	0.0	

Xテーブルパラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
FXO101～111	FX出力設定値1-1～1-11	Ⅲ	0.0～100.0	%	0.0～100.0	実数入力
FXO201～211	FX出力設定値2-1～2-11		0.0～100.0	%	0.0～100.0	

3) YS136 のパラメータ

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－, CAS, CMP	－	選　択
VDIR1	バルブ開度方向1		C-O, O-C	C-O	
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS136-	英数入力

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
DI1F	DI1機能設定	Ⅲ	_, E-MAN	_	選　択
DI1D	DI1動作接点方向		OPN, CLS	OPN	
AOUT	アラーム出力接点状態指定		NC, NO	NC	
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択

セッティングパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PH1	測定値1上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
MH1	操作信号1上限値	Ⅲ	-6.3～106.3	%	106.3	実数入力
ML1	操作信号1下限値		-6.3～106.3	%	-6.3	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力

4) YS135 のパラメータ

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1，AUT，TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
CMOD1	カスケードモード1	Ⅲ	－，CAS，CMP	－	選　択
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1，2，3，4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1，2，4，5，10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS135-	英数入力

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
DI1F	DI1機能設定	Ⅲ	－，E-MAN	－	選　択
DI1D	DI1動作接点方向		OPN，CLS	OPN	
AOUT	アラーム出力接点状態指定		NC，NO	NC	
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF，ON	OFF	選　択

セッティングパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
SV	測定値1のイニシャルスタート値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	実数入力
PH1	測定値1上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力

5) YS131 のパラメータ

5-1)スタイル1

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1, AUT, TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS131-	英数入力

機能設定2-2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PV2IN	測定入力2の入力指定	Ⅲ	－, X2	－	選　択
SCH2	スケール100%値2	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL2	スケール0%値2		-9999～9999	0	
SCDP2	小数点位置2	Ⅲ	1, 2, 3, 4	3	選　択
SCDV2	目盛り分割2	Ⅲ	1, 2, 4, 5, 10	1	選　択
UNIT2	工業量単位2	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT2	トレンド記録時間幅2	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG2	タグNo. 2	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS131-	英数入力

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
AOUT	アラーム出力接点状態指定	Ⅲ	NC, NO	NC	選　択
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択
PSR2	測定値2開平演算指定	Ⅲ	OFF, ON	OFF	選　択

セッティングパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PH1	測定値1上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
HH1	測定値1上上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
LL1	測定値1下下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLC2	測定値2開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力

5-2)スタイル2

機能設定1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
START	スタートモード	Ⅲ	TIM1，AUT，TIM2	TIM1	選　択

機能設定2-1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
SCH1	スケール100%値1	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値1		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置1	Ⅲ	1，2，3，4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割1	Ⅲ	1，2，4，5，10	1	選　択
UNIT1	工業量単位1	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅1	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 1	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS131-	英数入力

機能設定2-2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PV2IN	測定入力2の入力指定	Ⅲ	－，X2	X2	選　択
SCH1	スケール100%値2	Ⅲ	-9999～9999	1000	整数入力
SCL1	スケール0%値2		-9999～9999	0	
SCDP1	小数点位置2	Ⅲ	1，2，3，4	3	選　択
SCDV1	目盛り分割2	Ⅲ	1，2，4，5，10	1	選　択
UNIT1	工業量単位2	Ⅲ	半角大文字6文字	%	英数入力
TRDT1	トレンド記録時間幅2	Ⅲ	1M, 5M, 10M, 30M, 1H, 5H, 10H, 30H	1M	選　択
TAG1	タグNo. 2	Ⅲ	半角大文字12文字	-YS131-	英数入力

機能設定3

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	初期値	設定方式
PSR1	測定値1開平演算指定	Ⅲ	OFF，ON	OFF	選　択
PSR2	測定値2開平演算指定	Ⅲ	OFF，ON	OFF	選　択
ASW1	警報1出力接続	Ⅲ	00000000～11111111（2進入力）	10000000	選　択
ASW2	警報2出力接続		00000000～11111111（2進入力）	01000000	
ASW3	警報3出力接続		00000000～11111111（2進入力）	00100000	
ASW4	警報4出力接続		00000000～11111111（2進入力）	00010000	
ASW5	警報5出力接続		00000000～11111111（2進入力）	00001100	
ASW6	警報6出力接続		00000000～11111111（2進入力）	00000011	
ANOR1	警報1AND/OR指定	Ⅲ	OR，AND	OR	選　択
ANOR2	警報2AND/OR指定		OR，AND	OR	
ANOR3	警報3AND/OR指定		OR，AND	OR	
ANOR4	警報4AND/OR指定		OR，AND	OR	
ANOR5	警報5AND/OR指定		OR，AND	OR	
ANOR6	警報6AND/OR指定		OR，AND	OR	
AOUT1	警報1出力接点状態指定	Ⅲ	NC，NO	NC	選　択
AOUT2	警報2出力接点状態指定		NC，NO	NC	
AOUT3	警報3出力接点状態指定		NC，NO	NC	
AOUT4	警報4出力接点状態指定		NC，NO	NC	
AOUT5	警報5出力接点状態指定		NC，NO	NC	
AOUT6	警報6出力接点状態指定		NC，NO	NC	

セッティングパラメータ1

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PH1	測定値1上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
PL1	測定値1下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
HH1	測定値1上上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
LL1	測定値1下下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	

セッティングパラメータ2

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PH2	測定値2上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
PL2	測定値2下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	
HH2	測定値2上上限警報設定値	Ⅲ	-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	106.3	実数入力
LL2	測定値2下下限警報設定値		-6.3～106.3(%換算)	工業量単位	-6.3	

機能固定型パラメータ

パラメータ表示	パラメータ名称	表示	設定範囲	単位	初期値	設定方式
PLC1	測定値1開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG1	測定値1一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
HYS1	警報ヒステリシス1		0.0～10.0	%	2.0	
PLC2	測定値2開平演算ローカット点設定値	Ⅲ	0.0～100.0	%	1.0	実数入力
PLG2	測定値2一次遅れ時定数		0.0～800.0	S	0.0	
HYS2	警報ヒステリシス2		0.0～10.0	%	2.0	

◆ 取扱説明書 改版履歴

資料名称：YSS20 プログラム作成パッケージ
資料番号：IM 01B07C08-06

版	改版日付	変更箇所
初版	'00 年 2 月	新規発行
2 版	'00 年 3 月	誤記修正
3 版	'00 年 10 月	微分時間に動作範囲追加(付 -3，付 -4，付 -7，付 -9，付 -12)
4 版	'04 年 8 月	誤記修正。製品移管に伴う社名変更

著作者　横河電機株式会社
IA 事業本部ネットワークソリューション事業部
発行者　横河電機株式会社
〒 180-8750　東京都武蔵野市中町 2-9-32

YOKOGAWA ◆

横河電機株式会社

ネットワークソリューション事業部 国内営業部　0422-52-6765
〒180-8750 東京都武蔵野市中町2-9-32

中　部　支　社　052-586-1681
〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-27-2(日本生命笹島ビル12階)

関　西　支　社　06-6368-7130
〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-101(大同生命江坂ビル7階)

中　国　支　社　082-541-4488
〒730-0037 広島市中区中町8-12(広島グリーンビル8階)

九　州　支　社　092-272-1731
〒812-0037 福岡市博多区御供所町3-21(大博通りビジネスセンター7階)

支　　店

北海道	011-223-2821	北　陸	076-231-5301
東　北	022-243-4441	岡　山	086-221-1411
千　葉	0436-61-6751	四　国	087-821-0646
豊　田	0565-33-1611	北九州	093-521-7234

営　業　所

新　潟	025-241-3511	川　崎	044-280-4161
水　戸	029-306-2520	水　島	086-427-5181
堺	072-224-2515	新居浜	0897-33-9374
四日市	0593-52-4144	沖　縄	098-862-2093
鹿　島	0299-93-3801		